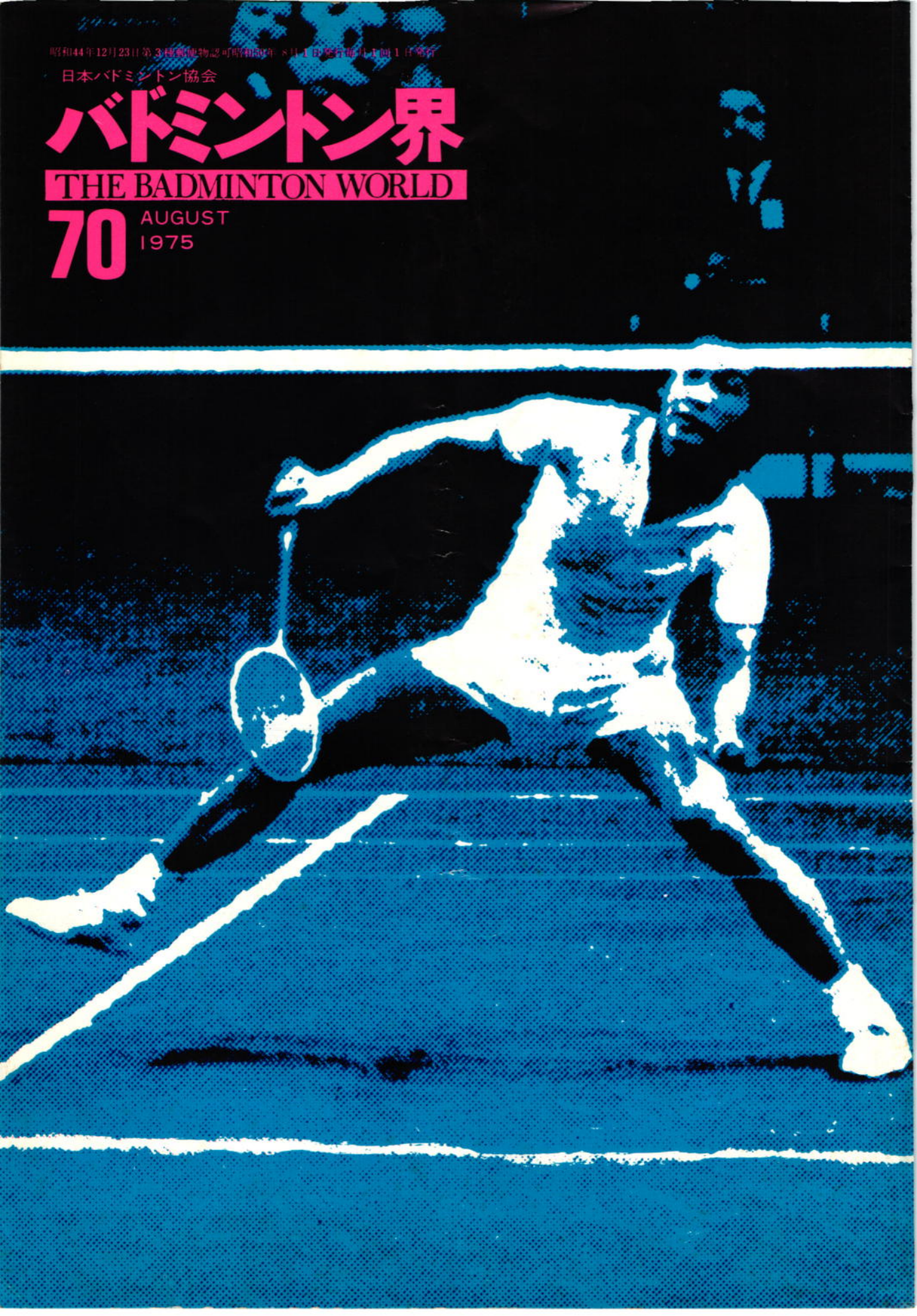
昭和44年12月23日第3種郵便物認可 昭和50年8月1日発行 毎月1回1日発行

日本バドミントン協会

バドミントン界

THE BADMINTON WORLD

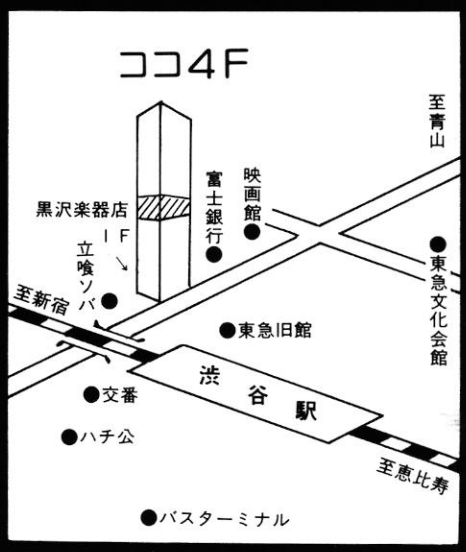
70 AUGUST 1975



世界で初めて
BADMINTONだけの

ラケットショップ元町 ・渋谷店

☎03−400−7390



バドミントン界
THE BADMINTON WORLD
NO. 70
1975年8月号

目次

表紙撮影・山田真市，同制作・小浜正道，本文中写真・山田真市

昭和50年度全国高校総合体育大会バドミントン競技会
植野三冠に輝く，男子は林田が制す …… 2
団体は金沢市工と四条畷学園が優勝
●小島一平 …… 3
試合にのめりこんだ一日

昭和50年度東日本学生選手権大会　バドミントン
男子単・須藤，女子単は高瀬がそれぞれ制す …… 4
昭和50年度関東学生バドミントン選手権大会
松口が単複に栄冠

北から南から・各地のたより …… 6
新会長に栗本藤四郎氏
発会三ケ月で成果
大きくはばたこう
全種目国体出場をはたす
東京からも参加

第10回トマス杯大会組合せ …… 8
トマス杯大会・栄光のあと …… 8
第10回トマス杯大会アジア地区東側予選会要項 …… 9

昭和50年度全国高校総合体育大会バドミントン競技会
〈グラビア写真集〉 …… 11
男子シングルス …… 11
女子シングルス …… 15
女子ダブルス …… 18
熱戦・死闘を終えて …… 24

●特別寄稿・地主大造 …… 28
やっと一年たちました
本宿クラブ・スマッシュの場合

昭和50年度日本バドミントン協会検定審査用具一覧表 …… 34

連載マンガ「バドッ子ラブちゃん」 …… 36
編集室から …… 36

男子は林田（九州学院）が制す

◆昭和50年度全国高校総合体育大会バドミントン競技会◆

国体は金沢市立工と四条畷学園が優勝

◆男子団体戦

▽準決勝

正強（奈良）3（復2―0 単1―0）0 仙台商（宮城）

金沢市立工 3（複2―0 単1―0）0 石岡一（茨城）

▽決勝

金沢市立工 3（複2―0 単1―0）0 正強

四条畷学園（大阪）3（複2―0 単1―0）0 琴平（香川）

◆女子団体戦

▽決勝

植野北村 2（15―8 15―1）0 前川渋谷

石川平 2（15―6 15―2）0 大喜田黒川

◆男子シングルス

▽準決勝

北村 2（11―2 11―0）0 渋谷

菅原（岩手・千厩）2（15―2 15―12）0 坂本（石川・七尾農）

林田（熊本・九州学院）2（15―4 15―6）0 宮森（石川・金沢市工）

▽決勝

林田 2（15―10 15―7）0 菅原

◆女子シングルス

▽準決勝

植野（大阪・四条畷）2（11―4 11―8）0 石田（石川・藤花）

米倉（富山・藤園女）2（8―11 12―10 11―5）1 北村（大阪・四条畷）

▽決勝

植野 2（6―11 11―1 11―2）1 米倉

◆男子ダブルス

▽準決勝

吉岡富田（奈良・正強）2（15―4 15―6）0 峰上原（香川・高松商）

宮森酒井（石川・金沢市工）2（12―15 15―3 15―12）1 小倉小浜（奈良・一条）

▽決勝

吉岡富田 2（15―7 15―6）0 宮森酒井

◆女子ダブルス

▽準決勝

植野石川（大阪・四条畷）2（15―2 15―8）0 米倉山西（富山・藤園女）

佐藤雑賀（兵庫・園田学園）2（15―9 17―18 15―13）1 山本桐山（奈良・一条）

▽決勝

植野石川 2（15―8 15―4）0 佐藤雑賀

駅頭で祝福受ける

東京、埼玉、山梨、茨城の一都三県で開かれていることしのインタハイの男子バドミントンで二年ぶり四度目の団体優勝を飾ったほか、宮森、酒井両選手がダブルスで準優勝するなど大活躍した金沢市工チーム（河原山晴夫監督）は七日金沢へ帰った。雨のため列車は約二十分遅れたが午後六時三十五分、金沢駅着の上り特急「白山2号」から元気に降り立ち、出迎えた約百五十人の学校関係者や市民らの祝福を受けた。

三日の決勝で宿敵・正強（奈良）を3―0で破り、全国制覇を勝ち取った選手らは、同工ブラスバンドの演奏するマーチに迎えられ、喜びいっぱい故郷入り。駅前広場で、さっそく祝勝会が開かれ、河原山監督、石丸治平コーチ、宮森庄吉主将ら八人の選手は疲れも見せず整列。石川良夫校長が「昨年の九州大会では優勝を目前に涙をのんだが、今大会で見事その雪辱を果たし、こんなうれしいことはない」とあいさつ。

ついで、江川昇金沢市助役、室井光栄同市議会議長、中島寿県バドミントン協会理事長らが「皆さんの快挙に対し心から祝福を送る。今後は韓国遠征、国体でもがんばってください」と祝辞。同校女生徒から花束が贈られ、桑田良夫同市教育長の音頭で万歳を三唱、互いに喜びをたたえ合った。

（北国新聞8・8）

植野（四条畷学園）三冠に輝く，

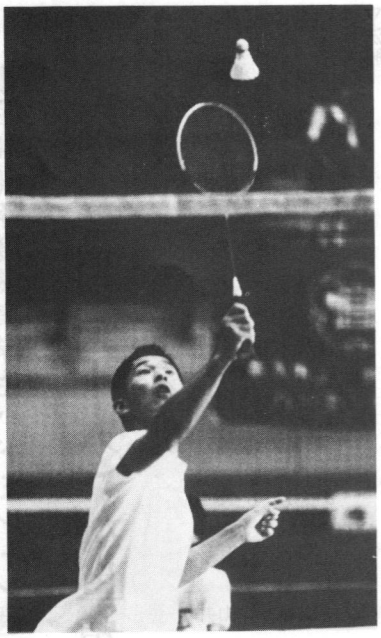
男子団体戦は、ともに四度目の優勝をねらう決勝であったが、層の厚さを誇る金沢市工と多少の疲れの色を隠せぬ正強の間には、闘う前から、金沢市工有利の感はまぬがれなかった。

しかし、第一ダブルスは大いにもつれ、フルゲームの末、あわやというところで正強は力尽き、金沢市工は貴重な一ポイントをあげ、優勝へ大きく一歩近づいた。

そして、第二ダブルス、第一シングルスともにストレート勝ちで連取し、見事に優勝を手にした。

金沢市工は洗練されたプレーこそ見られなかったが、よくきたえられており、精神力も強く、立派な優勝であった。

一方、準優勝の正強は、スタミナさえあればチャンスがあっただけに惜しまれてならない。層が厚い場合は心配ないが、たとえば二人の選手に頼られる場合は、シングルス三試合、ダブルス三試合をこなすスタミナが必要である。



●男子団体戦決勝を観戦して

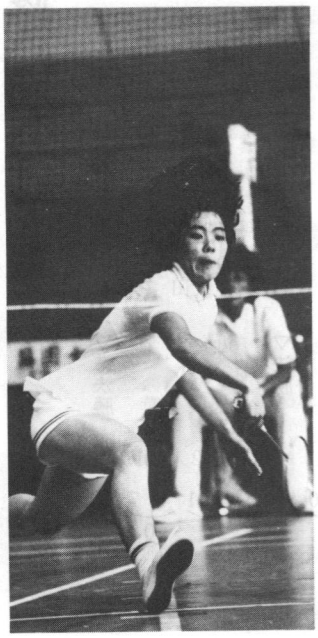
試合にのめりこんだ一日

小島一平

ダブルスで気がついた点は、基本である相手に上げさせておいて打つということが少なく、逆に簡単に上げてしまうケースがたびたび見受けられた。高校生はやはり打っているチームが強い。そのため多少大味なダブルスであった。

シングルスは、フットワークの欠点が目についた。バドミントン三原則の一つである、より速くコートを走るということ、ホーム・ポジションへ速くもどるということが守られていなかった。そして、高校生は技術が未熟であるのだから、少しでも速く球の下に入り、フォアハンドで打つようにし、安易にバックハンドにたよることは慎しんでほしいものである。

しかし、うだるような暑さの中の熱戦は、インタハイならではのものであり、私も一日中試合にのめりこんだ次第である。



〈写真はグラビアに掲載〉

◆昭和50年度東日本学生選手権大会◆　7・18～21仙台

日本体育大学が全種目を制覇

男子単・須藤，女子単は高瀬がそれぞれ優勝

◆昭和50年度関東学生バドミントン選手権大会◆　6・13、16、17、19、20、24～28　東京

松口（早大）が単複に栄冠

◆男子シングルス
▽準決勝
須藤（日体大）2 15-15 15-11 0 梶田（慶大）
栗原（日体大）2 15-15 4-15 15-8 12-15 0 松口（早大）

▽決勝
須藤 2 15-10 15-7 0 栗原

◆男子ダブルス
▽準決勝
高木 渡辺（早大）2 17-16 15-8 0 大場 西村（中大）
須藤 栗原（日体大）2 15-11 15-11 0 桝田 岩崎（日体大）

▽決勝
高木 渡辺（早大）2 15-11 15-7 0 須藤 栗原（日体大）

◆女子シングルス
▽準決勝
千葉（日女体）2 12-11 12-10 0 井上（日体大）
高瀬（日体大）2 11-2 11-7 6-11 1 矢口（東女体）

▽決勝
高瀬 2 11-6 11-8 0 千葉

◆女子ダブルス
▽準決勝
千葉 松田（日女体）2 15-7 15-12 1 桜井 日山（日体大）
谷井 上（日体大）2 15-2 15-11 0 大関 根塚（日体大）

▽決勝
千葉 松田（日女体）2 15-8 7-15 15-10 1 桜井 日山（日体大）

★関東学生選手権
◆男子シングルス
▽準々決勝
谷井上 2 15-12 15-10 0 千葉 田
土田（日）2 15-6 15-7 0 原（法大）
梶（慶大）田 2 17-14 18-16 9-15 1 中井（法大）
辻（日体大）2 15-3 15-6 0 遠藤（青学大）

▽準決勝
折井 松口（早大）2 15-11 15-3 0 出石 池田（日体大）
山本 長谷川（中大）2 15-7 15-6 0 土田 伊東（日女）
中井 辻（法大）2 15-7 15-11 0 大場 西村（中大）
栗原 須藤（日体大）2 15-7 15-12 0 栗坂 井（中大）

▽決勝
折井 松口（早大）2 15-11 15-3 0 出石 池田（日体大）
山本 長谷川（中大）2 15-7 15-6 0 土田 伊東（日女）

◆女子シングルス
▽準々決勝
千葉 2 11-6 11-0 0 近藤
近藤 2 11-6 11-4 2-11 1 松田

▽決勝
千葉 2 11-4 11-7 0 渡辺

◆女子ダブルス
▽準々決勝
千葉 松田（日女体）2 15-9 12-15 18-17 1 矢口 内沢（東女体）
桜井 日山（日体大）2 15-7 5-15 15-9 1 林 谷桐（日女体）
近藤 渡辺（日女体）2 15-6 15-10 0 高瀬 田松（日体大）
上野 島田（日女体）2 15-5 15-4 2-15 1 大場 村田（日女体）

▽準決勝
千葉 松田 2 15-6 15-6 0 桜井 日山
近藤 渡辺 2 15-8 15-6 0 島上 田野

▽決勝
千葉 松田 2 15-8 15-5 0 近藤 辺藤

昭和50年度　東日本学生バドミントン選手権大会　ランキング

7月18日～21日　宮城県スポーツセンター・東北工業大学体育館

男子シングルス	男子ダブルス	女子シングルス	女子ダブルス
1．須藤　茂（日体大）	1．須藤　茂・栗原　恒夫（日体大）	1．高瀬　治子（日体大）	1．谷　美津代・井上　昌子（日体大）
2．栗原　恒夫（日体大）	2．高木　勝弘・渡辺　秀明（早　大）	2．千葉　陽子（日女体）	2．千葉　陽子・松田　敦子（日女体）
3．梶田　敏夫（慶　大）	3．大場　和博・西村　正美（中　大）	3．井上　昌子（日体大）	3．桜井　誠子・日山　裕子（日体大）
4．松口　金彦（早　大）	4．舛田　吉光・岩崎　盛和（日体大）	4．矢口　洋子（東女体）	4．大塚ソノエ・関根　和子（日体大）
5．西村　正美（中　大）	5．三の宮芳和・秋葉　博（中　大）	5．谷　美津代（日体大）	5．大場三弥子・村田　嘉江（日女体）
6．遠藤　正弘（青学大）	6．笠野　孝男・遠藤　正弘（青学大）	6．長沢　広美（東女体）	6．神山美佐栄・池田　幸子（群　大）
7．折井　直則（早　大）	7．下田　春樹・木下　元則（法　大）	7．桜井　誠子（日体大）	7．高瀬　治子・松田美恵子（日体大）
8．高木　勝弘（早　大）	8．折井　直則・松口　金彦（早　大）	8．日山　裕子（日体大）	8．石井由美子・佐円　伸江（日体大）

昭和50年度　関東学生バドミントン選手権大会　ランキング

6月13、16、17、19、20，24～28日　江戸川，中央区，駒沢体育館

Aブロック 男子シングルス	男子ダブルス	Aブロック 女子シングルス	女子ダブルス
1．松口　金彦（早　大）	1．折井　直則・松口　金彦（早　大）	1．千葉　陽子（日女体）	1．千葉　陽子・松田　敦子（日女体）
2．土田　証雄（日　大）	2．中井　基夫・辻　敏弘（法　大）	2．近藤　小織（日女体）	2．近藤　小織・渡辺多喜子（日女体）
3．梶田　敏夫（慶　大）	3．山本　茂樹・長谷川博幸（中　大）	3．松田　敦子（日女体）	3．桜井　誠子・日山　裕子（日体大）
3．辻　敏弘（法　大）	3．栗原　恒夫・須藤　茂（日体大）	3．渡辺多喜子（日女体）	3．上野　早苗・島田　秀子（日女体）
5．遠藤　正弘（青学大）	5．土田　証雄・伊東　勝之（日　大）	5．高瀬　治子（日体大）	5．林　寿美子・桝谷美智子（日女体）
5．中井　基夫（法　大）	5．大場　和博・西村　正美（中　大）	5．大場三弥子（日女体）	5．大場三弥子・村田　嘉江（日女体）
5．栗原　恒夫（日体大）	5．出石　勉・池田　隆治（日体大）	5．日山　裕子（日体大）	5．矢口　洋子・沢内真由美（東女体）
5．原　敏夫（法　大）	5．栗　英剛・坂井　孝（中　大）	5．桜井　誠子（日体大）	5．高瀬　治子・松田美恵子（日体大）

昭和50年度　関東学生バドミントン選手権大会　ランキング

6月13，16，17，19，20，24～28日　江戸川区・中央区・駒沢体育館

Bブロック 男子シングルス	男子ダブルス	Bブロック 女子シングルス	女子ダブルス
1．西村　金治（日体大）	1．橋木　敏郎・木村　徹（慶　大）	1．中村　紀子（学習院）	1．増田　啓子・鈴木　裕子（日女体）
2．堀越　恵次（東経大）	2．三上　高広・新岡　潤一（大東大）	2．菱山　節子（慶　大）	2．阿部　洋美・衣袋　一江（青学大）
3．高橋　郁夫（東農大）	3．加藤　岳・渡辺　優（横国大）	3．金城あつ子（玉川大）	3．菱山　節子・渡辺　真代（慶　大）
3．桂　日出夫（東洋大）	3．山本　正・種本　和広（大東大）	3．佐久間恭子（日体大）	3．平田　正江・梶ヶ谷芳子（大東大）
5．門田　克己（青学大）	5．塩川　正美・桂　日出夫（東洋大）	5．山口ちいろ（日女体）	5．中村　紀子・岡田　美子（学習院）
5．阿部　忠弘（武蔵大）	5．山下　雅玄・竹田　和郎（国学院）	5．国武　公子（横国大）	5．村岡ひろ子・後藤登美子（日女大）
5．金子　厚勤（東農大）	5．浜田　知幸・加藤　貴久（成蹊大）	5．磯野　典子（明星大）	5．湊　登代子・星野奈補子（国士館）
5．三上　高弘（大東大）	5．西村　金治・長谷川　博（日体大）	5．朝比奈伸子（日体大）	5．寺井恵美子・白鳥　定子（日体大）

役員改選す
新会長に栗本藤四郎氏

◆滋賀県◆

滋賀県バドミントン協会は、7月1日役員の改選をおこない、会長に栗本藤四郎氏（滋賀里病院）が就任され、正岡吉三郎氏は辞任された。

また事務局も左記のとおり移転した。

〒520大津市馬場一ノ一ノ一
県立大津高等学校
Tel〇七七五―二三―〇三八六
（事務局長）岡林恒夫
（事務局）久保宏・安沢武雄・佐藤賢・沢長寿

一人の脱落者もなく
発会三カ月で成果

◆栃木県◆

市民が楽しめるスポーツとして、那須町は四月からバドミントン協会を設立して普及を図っているが、黒田原地区の那須クラブが結成三カ月で、早くも成果をあげている。

同クラブには、主婦、青年、銀行員、公務員など女性を中心に七十人が参加、毎週火、木曜日の午後六時から約三時間の練習を続けている。九割の会員がバドミントンを初めてやる人だったが、三カ月をすぎた現在、一人の脱落者もなくて会員の腕前も上達している。

同クラブでは、さらに会員間の親ぼくを深めるため、会員だけの大会を七月から二カ月に一回程度開催、会員の技術向上を目指して表彰制度を設ける。このため、会員も楽しみながらバドミントンが覚えられると熱を入れている。

ある主婦は、「いままで家庭に閉じこもって周囲の出来事がわからなかった。が、会員になってからいろいろなことがわかり、友達もできて有意義です」と、スポーツそのものよりも住民間の親ぼくが楽しいと話している。

（栃木新聞7・19）

町のスポーツクラブ
大きくはばたこう

◆佐賀県◆

四十八年春、唐津市内のバドミントン好きな青年たちが集まって結成。まだ比較的なじみの薄いスポーツだが、昨年十一月の日中親善試合の影響もあって現在、会員は増加傾向。唐津市水主町のスーパー経営の若だんな高田安彦さん(三)をキャプテンに男女それぞれ九人のチームに成長、会のネーム（シャトルコックスはバドミントンの羽根の意味）のように大きくはばたこうとしている。

練習は毎週火、金曜日の二回。風がないことと照明はライトに限るという条件の室内競技だけに、練習場になっている唐津市都市青年の家体育館は熱気でムンムン。十分間もラケットを振ると額を伝わる汗がキラリと光る。

高田キャプテンは『技術よりもまずお互いに楽しむということがねらいです』と話すが、練習のほかに開かれる月一回のミーティングなどが実を結んで、ことし四月の県大会では、同クラブを中心とした唐津市チームが優勝。次の目標を十月に開かれる職域対抗の市大会でクラブ独自で優勝を目指し猛練習中。

だが悩みもある。会員が市内の会社員、保母さん、看護婦さん、床屋さんと職業もさまざまなため、練習時間に制約がある。『一汗かいた後の気分がいい』『イライラも吹っ飛ぶ』と練習後のミーティングでは明るい笑いが絶えない。バドミントンをきずなにした友情の輪も広がっている。

（佐賀新聞8・16）

酷暑ふきとばす大熱戦
全種目国体出場をはたす

◆岡山県◆

岡山県下では、酷暑のなか、各種大会が盛大に行われ、各コートで暑さを吹きとばす熱戦がくり広げられた。

◆県体育大会バドミントン競技兼第30回国体岡山県予選会（7・24・25）

▽少年女子ダブルス
一位＝橋本・岡部（山陽）
二位＝小山・貝原（山陽）
三位＝守屋・若林（中央）
〃＝松本・大源（翠松）

▽少年男子ダブルス
一位＝藤原・片岡（倉工）
二位＝西崎・楠戸（水工）
三位＝藤井・貝原（水工）
〃＝織田・土岐（水工）

▽少年女子シングルス
一位＝橋本（山陽）
二位＝小山（山陽）
三位＝岡部（山陽）松本（翠松）

▽少年男子シングルス
一位＝平田（倉工）
二位＝片岡（倉工）
三位＝藤原（倉工）田中（倉工）

◆県社会人バドミントン選手権大会兼第18回中国選手権大会県予選会（7・27）

▽女子ダブルス
一位＝三田・藤原（クラレ岡山）
二位＝木村・石田（東陶・教委）
三位＝楠本・川端（三石）
〃＝藤原・難波（川鉄）

▽女子シングルス
一位＝石田（県教委）
二位＝三田（クラレ岡山）

三位＝木村（東陶）藤原（クラレ）

▽男子A級ダブルス

一位＝藤原・松井（三井造）
二位＝上野・芳上（三井造）
三位＝武・角田（倉工OB）
〃＝岡本・小田（玉中・総中）

▽男子A級シングルス

一位＝芳上（三井造）
二位＝小田（総社東中）
三位＝三宅（水工教）
〃＝松井（三井造）

▽男子B級ダブルス

一位＝板谷・田中（水工OB）
二位＝牧野・船越（旭化成）
三位＝田中・永井（クラレ）
〃＝平松・保仙（クラレ）

▽男子B級シングルス

一位＝板谷（水工OB）
二位＝永山（三石油）
三位＝田中（倉工OB）
〃＝古里（旭化成）

▽30才以上ダブルス

一位＝小松・藤井（市教委）
二位＝藤原（三井造船）
三位＝松井（三井造船）
〃＝上野（三井造船）

なお、岡山県勢は、中国ブロック予選会でも大活躍、少年男子、少年女子、成年女子、教員男子の四種目に優勝し、全種目そろって国体に出場する。

▽30才以上シングルス

一位＝藤井（市教委）

◆県体育大会バドミントン競技兼第30回国体県予選会（8・3）

▽成年女子ダブルス

一位＝三田・藤原（クラレ岡山）
二位＝木村・石田（東陶・県教委）
三位＝川端・桶本（三菱石油）
〃＝岡・佐藤（三菱化成）

▽成年女子シングルス

一位＝石田（県教委）
二位＝藤原（クラレ岡山）
三位＝三田（クラレ岡山）
〃＝木村（東陶）

▽成年男子ダブルス

一位＝上野・芳上（三井造船）
二位＝万代・安斉（クラブ）
三位＝森田・片岡（川鉄）
〃＝小松・藤井（市教委）

▽成年男子シングルス

一位＝芳上（三井造船）
二位＝藤原（三井造船）

ママさん熱戦を展開
東京からも参加

◆京都府◆

府バドミントン協会主催、京都新聞社後援の第二回家庭婦人・オープン・バドミントン大会が、十七日午前九時から、京都市北区の府立体育館で開かれた。

参加チームは京都の六チームはじめ東京や兵庫県などからの参加もあって計二十七チームにものぼり、昨年の十九チームを八チーム上回り、永末英一・大会会長は「家庭の婦人にスポーツが広がり、ますます喜ばしい」と歓迎のあいさつをした。

試合は、一チーム八人、ダブルスでリーグ戦形式。また、遠方から参加する貴重な機会だけに、敗者復活戦も組み込み、ママさんらが日曜日の一日、スポーツが楽しめるよう配慮された。

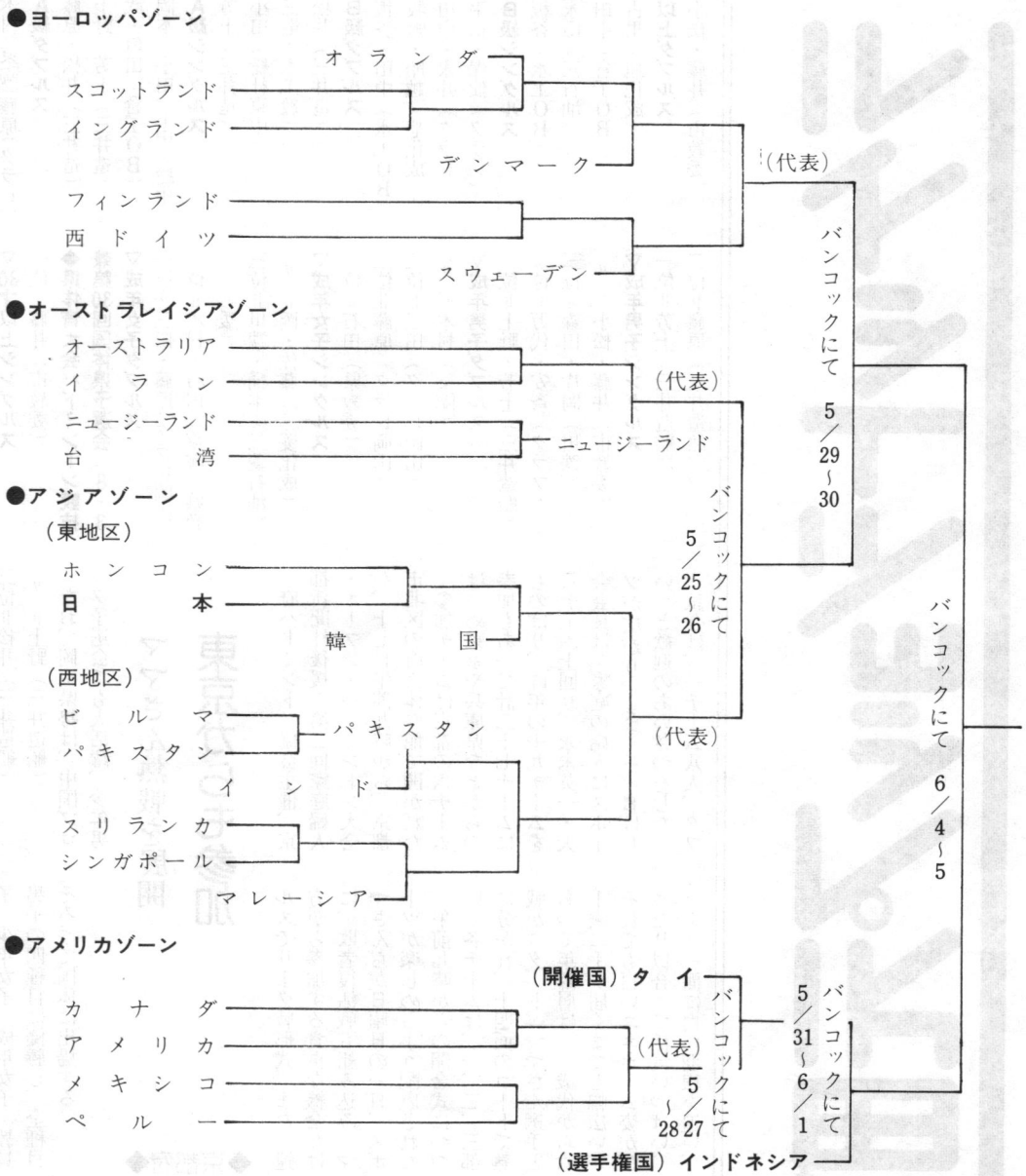
午前九時からの開会式につづいて各チームは、一、二、三部に分かれ、十四面のコートで熱戦がスタート。ママさん選手とあって年齢層は二十歳代から六十歳に手が届くまでと幅広いが、それでも白いユニホーム姿がぴったり似合って活気いっぱい。コート一面に白い羽根を追い、パートナーともどもにかけ声をあげての熱戦ぶり。敏しょうなプレーには観覧席から観戦のご主人や子供たちから「ガンバレッ」と声援も飛び出し、家庭のママさんならではのなごやかな試合がくりひろげられた。

この大会は、府協会が昨年、バドミントンに励むママさん選手が広く試合相手を求め、親善を深めようーと企画した第一回につぐもので、大会関係者は、「主婦のスポーツはバレー、卓球、それにバドミントンが最も愛好されており、この大会を通じて、さらに主婦層にスポーツが親しまれるようになれば…」と期待を寄せている。

（京都新聞8・18）

ニッケミスポーツ王国
平均年令27才のヤングパワー。
(045)651-2020
●横浜市中区石川町2-84

第10回世界バドミントン選手権（トマス杯）大会組合せ



トマス杯大会・栄光のあと

回・年	参加国	チャンピオン国	回・年	参加国	チャンピオン国
第1回・1948～49	10	マラヤ	第6回・1963～64	26	インドネシア
第2回・1951～52	12	マラヤ	第7回・1966～67	23	マレーシア
第3回・1954～55	21	マラヤ	第8回・1969～70	25	インドネシア
第4回・1957～58	19	インドネシア	第9回・1972～73	23	インドネシア
第5回・1960～61	19	インドネシア	第10回・1975～76	26	?

第10回世界バドミントン選手権（トマス杯）大会
アジア地区東側予選会実行委員会

委員長	小宮淳宏	日本バドミントン協会理事長
副委員長	高倉正治	日本バドミントン協会副理事長
副委員長	内藤安雄	日本バドミントン協会常務理事
		神奈川県バドミントン協会理事長
委員	秋元信一	日本バドミントン協会常務理事
委員	浅岡武	日本バドミントン協会理事
		東京都バドミントン協会理事長
委員	五十里光秋	埼玉県バドミントン協会理事長
委員	遠藤真男	山梨県バドミントン協会理事長
委員	加藤寛治	茨城県バドミントン協会理事長
委員	神沢暁	群馬県バドミントン協会理事長
委員	里見光徳	日本バドミントン協会常務理事
委員	吹田修一	日本バドミントン協会常務理事
委員	高橋重夫	日本バドミントン協会常務理事
		千葉県バドミントン協会理事長
委員	富川昂	栃木県バドミントン協会理事長 舜舜
委員	並木万次郎	日本バドミントン協会常務理事
委員	秦浩	日本バドミントン協会常務理事
委員	福田武	日本バドミントン協会常務理事
委員	村山幸雄	日本バドミントン協会事務局長
委員	山本洋彦	日本バドミントン協会常務理事

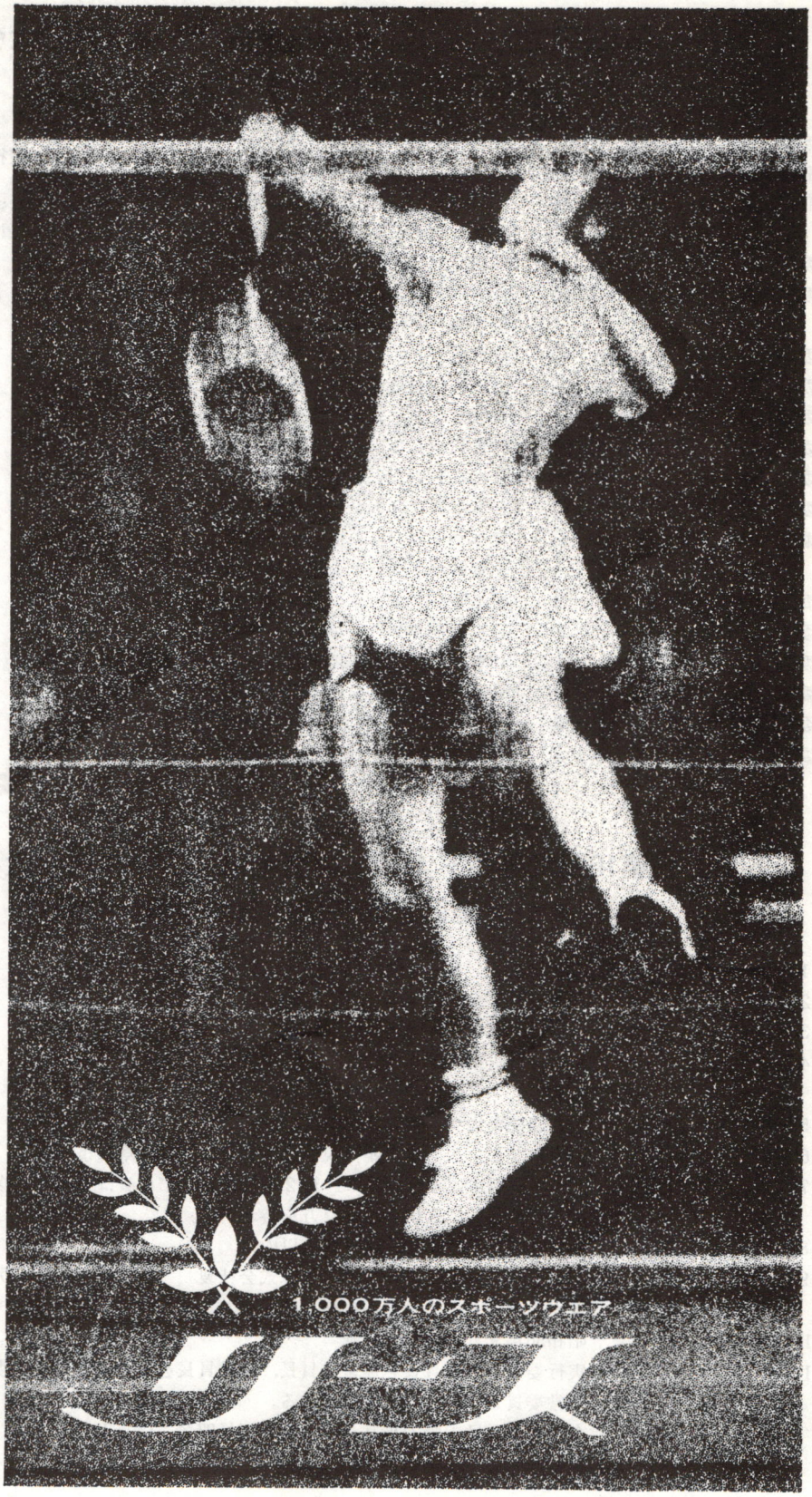
実行委員会事務局

事務局長	村山幸雄
事務局員	天野博江
同	今北基夫
同	黒崎二男
同	堺栄一
同	菅原幸雄
同	関一誠
同	関根義雄
同	中田正彦
同	秦浩
同	宮永武司
同	村野浩
同	山本次生
同	山本洋彦

第10回世界バドミントン選手権（トマス杯）大会
アジア地区東側予選会日本対香港要項

1）主催	国際バドミントン連盟
2）主管	日本バドミントン協会
3）後援	東京12チャンネルほか
4）日時	第1日　昭和50年9月20日(土)　14時 第2日　同　21日(日)　14時
5）場所	国立競技場代々木第2体育館
6）競技規則	国際バドミントン連盟競技規則およびトマス杯憲章による。
7）競技方法	トマス杯憲章により、単3，複2を用意し，第1日は2単，2複。第2日は3単，2複の対抗戦で，5試合を得た方を勝とする。
8）チームの編成	トマス杯憲章により，選手6名以内。
9）使用シャトル	シャトル　ヨネックススポーツ株式会社製　「トーナメント　デラックス」 世界選手権大会に日本製を初めて使用
10）組み合わせ会議	昭和50年9月18日14時以降
11）予選会の役員	実行委員会の委員長を運営委員長，副委員長を運営副委員長，委員および常務理事を運営委員として予選会を管理する。 名誉審判長は内藤安雄常務理事，審判員27名，係員22名とする。

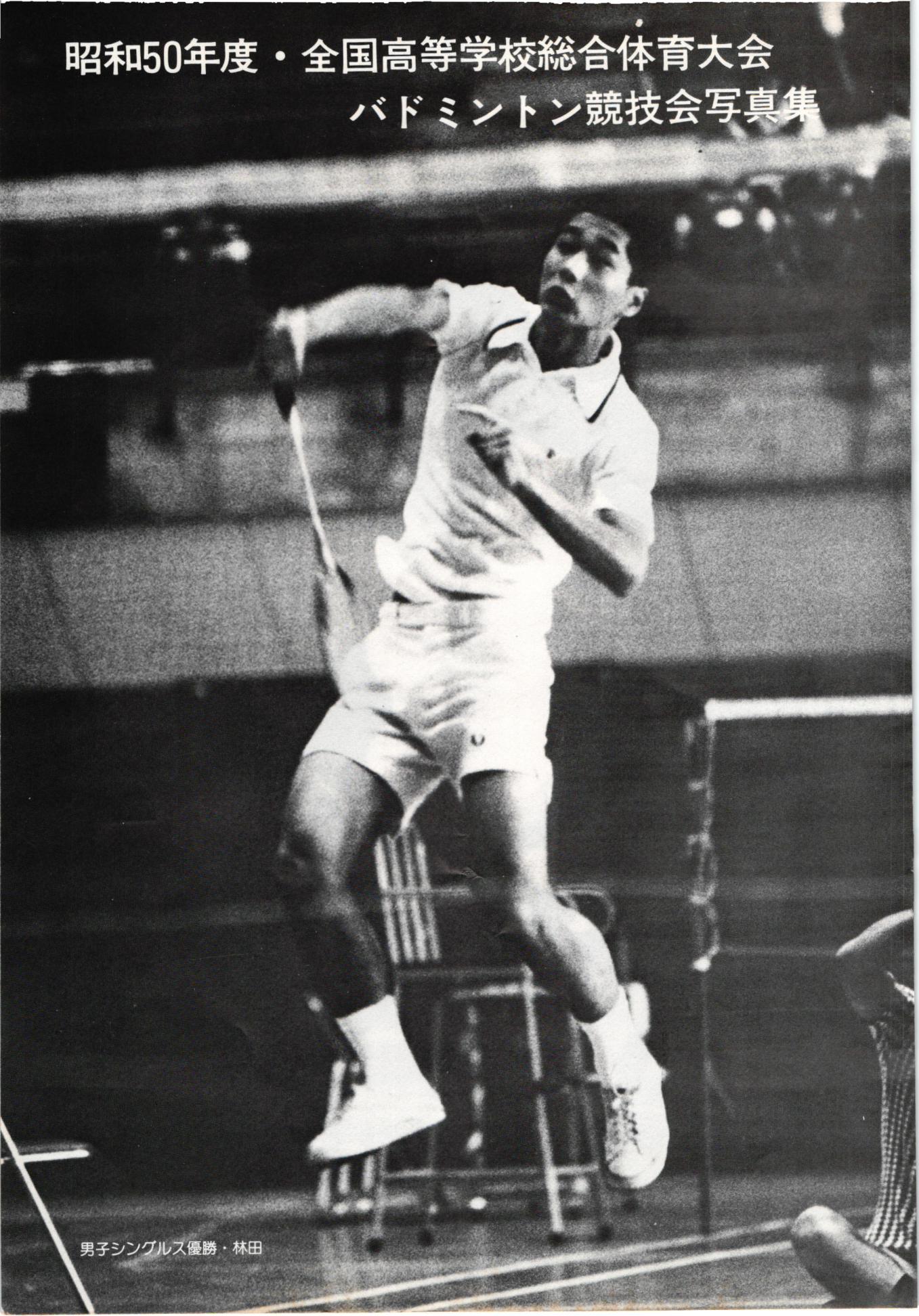
この一瞬!!



あなたはひかる――はげしい動き、ふき出す汗、すべての条件を
プレイヤー本位に満たすカワサキの〝リース〟はあなたのウエアです。

K TOKYO
河崎ラケット工業株式会社
東京都台東区台東2－28－5 電話(831)9－6－1(代)

昭和50年度・全国高等学校総合体育大会
バドミントン競技会写真集



男子シングルス優勝・林田



男子シングルス2位・菅原

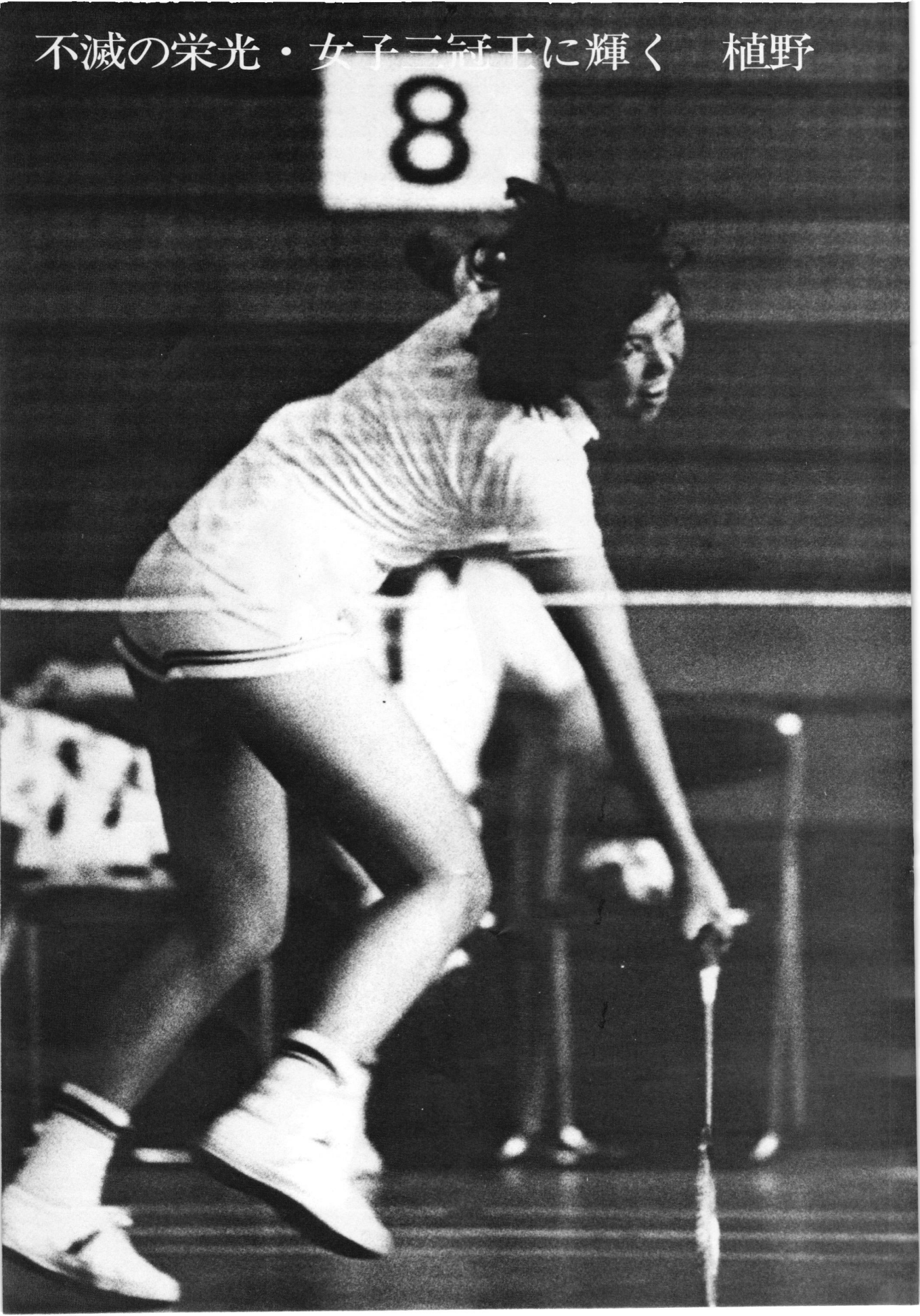


男子シングルス3位・石川

男子シングルス決勝・林田(右)と菅原の熱戦






不滅の栄光・女子三冠王に輝く　植野
8

決勝の死闘



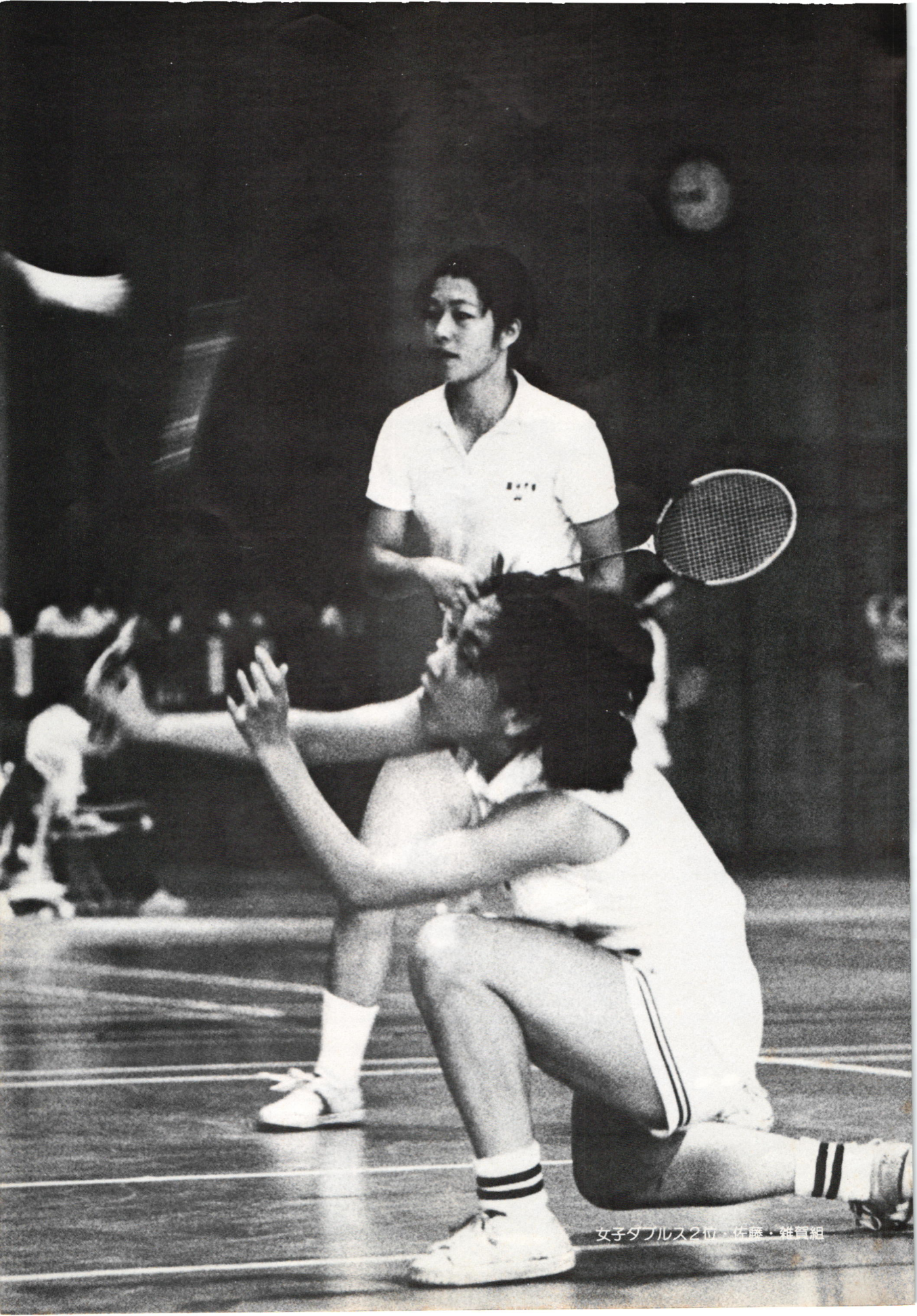
女子シングルス



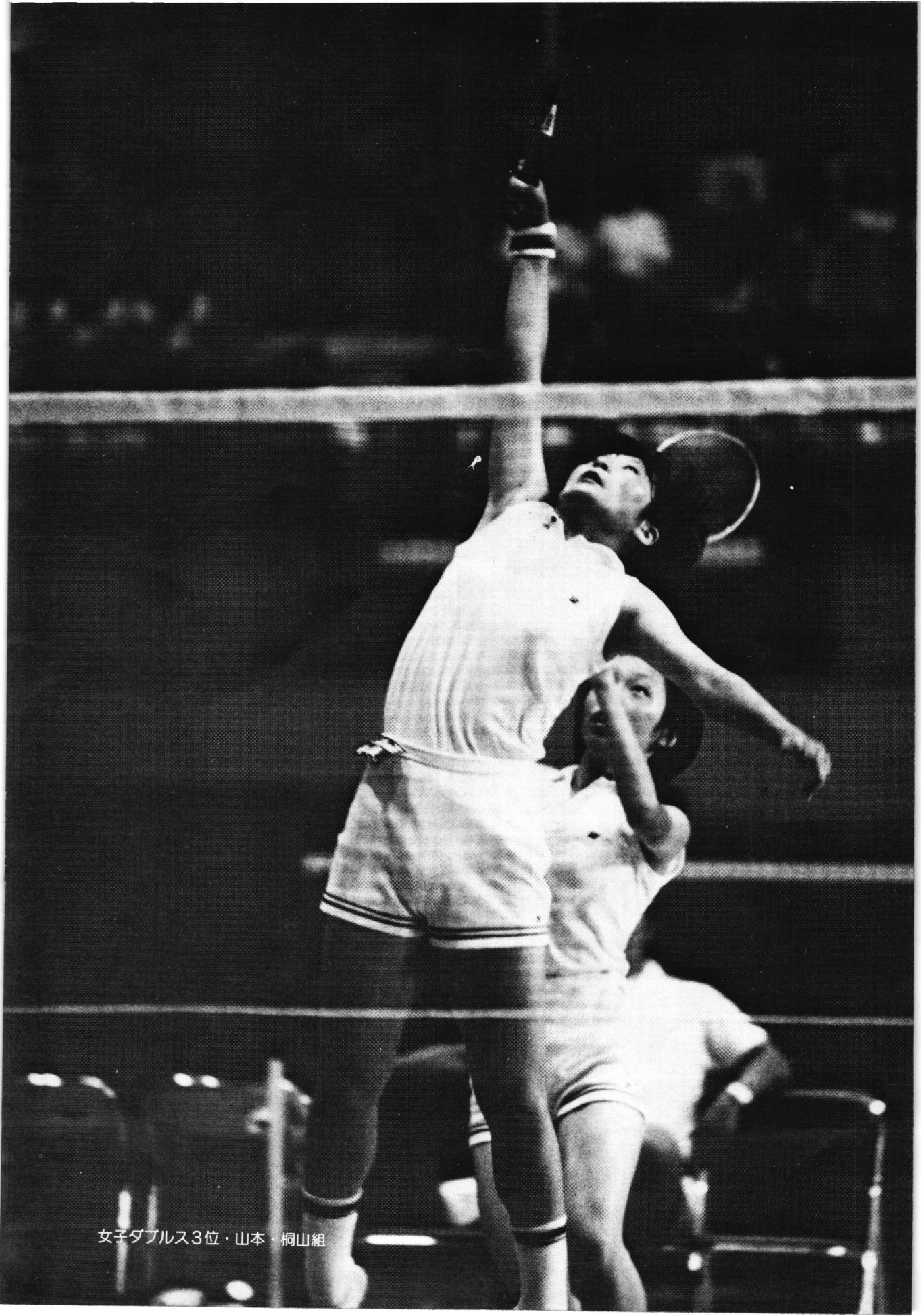
米倉



女子ダブルス優勝・植野・石川組



女子ダブルス2位…佐藤・雑賀組

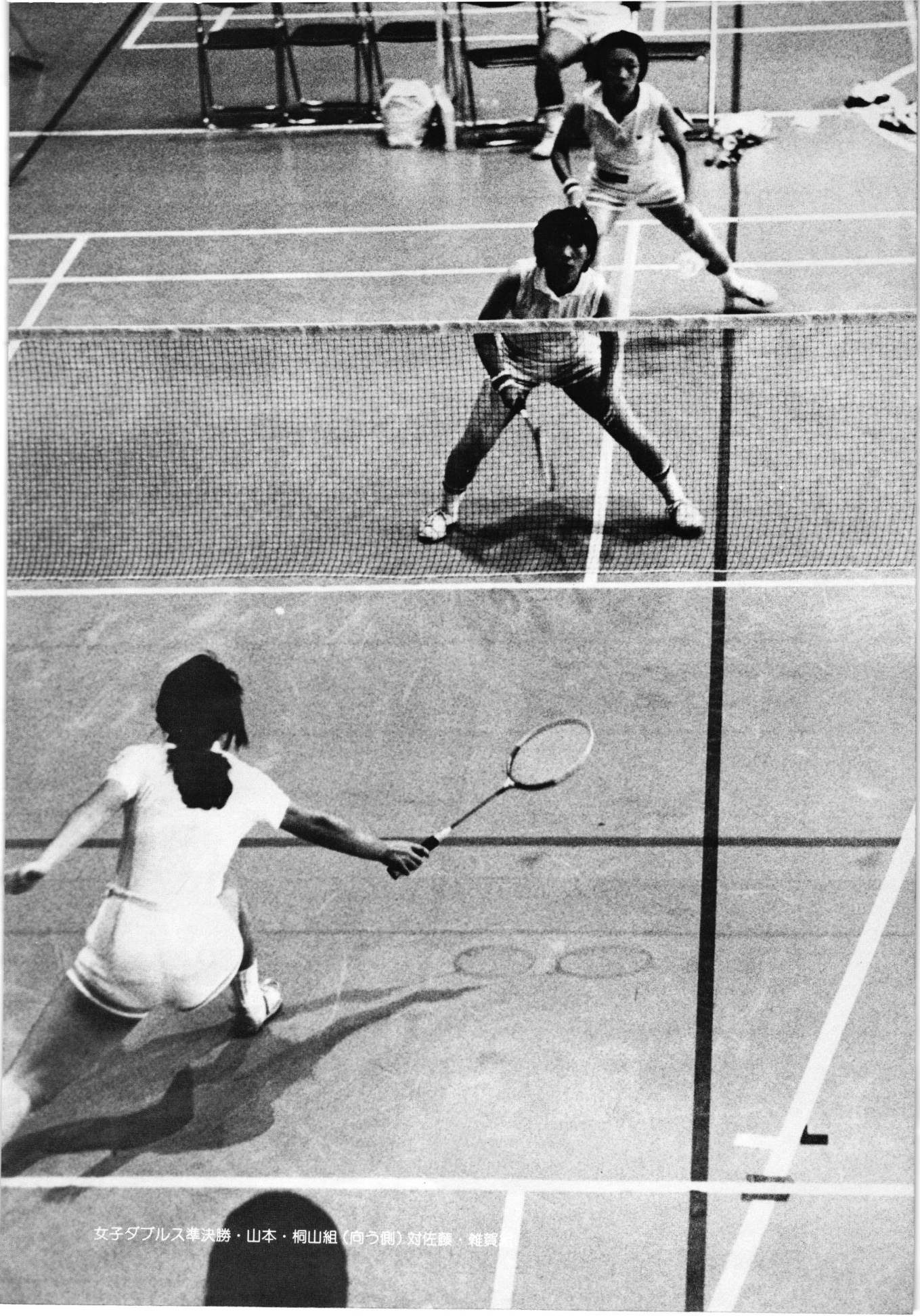


女子ダブルス３位・山本・桐山組

女子ダブルス3位・米倉・山西組



熱戦にスタンドの応援も必死



女子ダブルス準決勝・山本・桐山組（向う側）対佐藤・雑賀

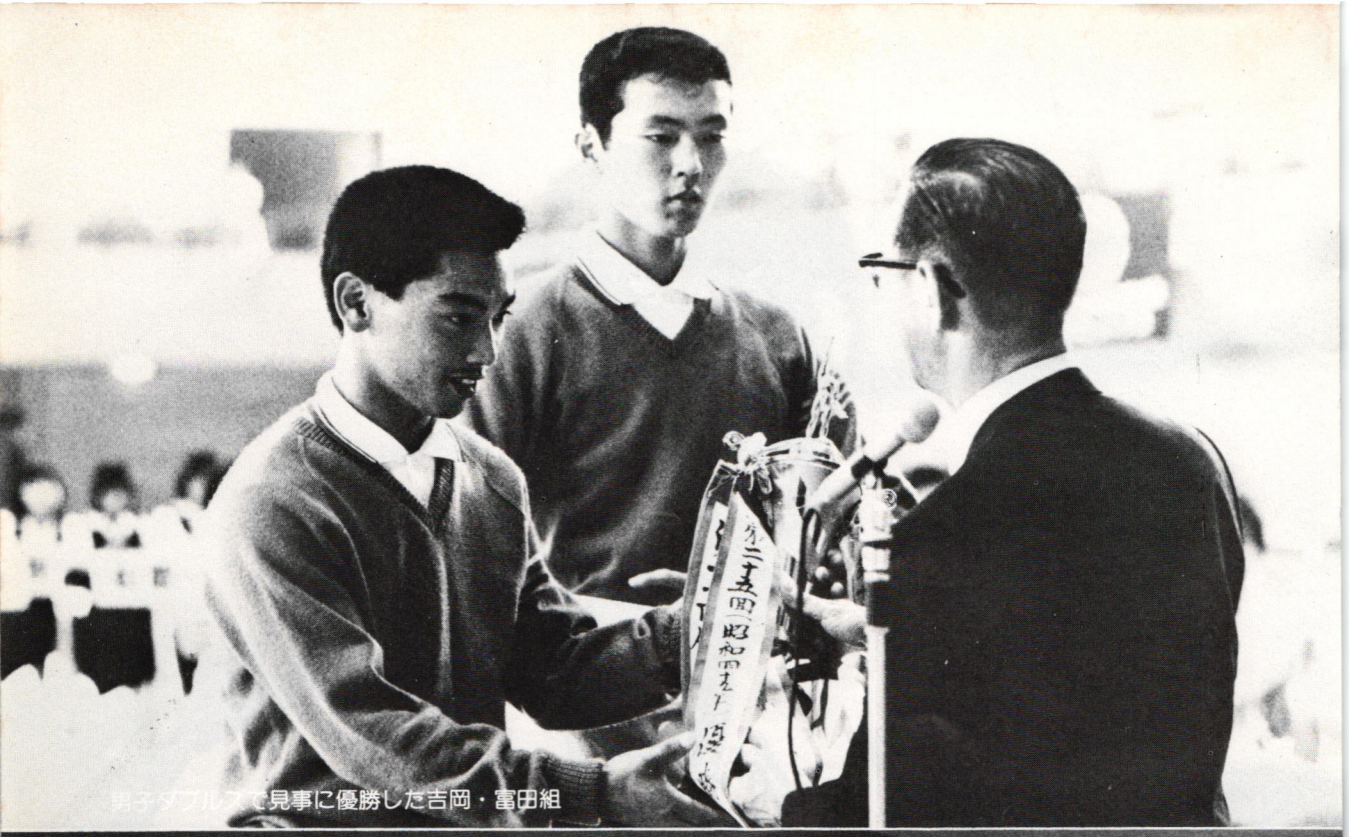


準決勝・ファイナル・ゲーム前のインターバル（佐藤・雑賀組）

熱戦・死闘を終えて

全力を尽くした選手の胸に去来するものは何か……

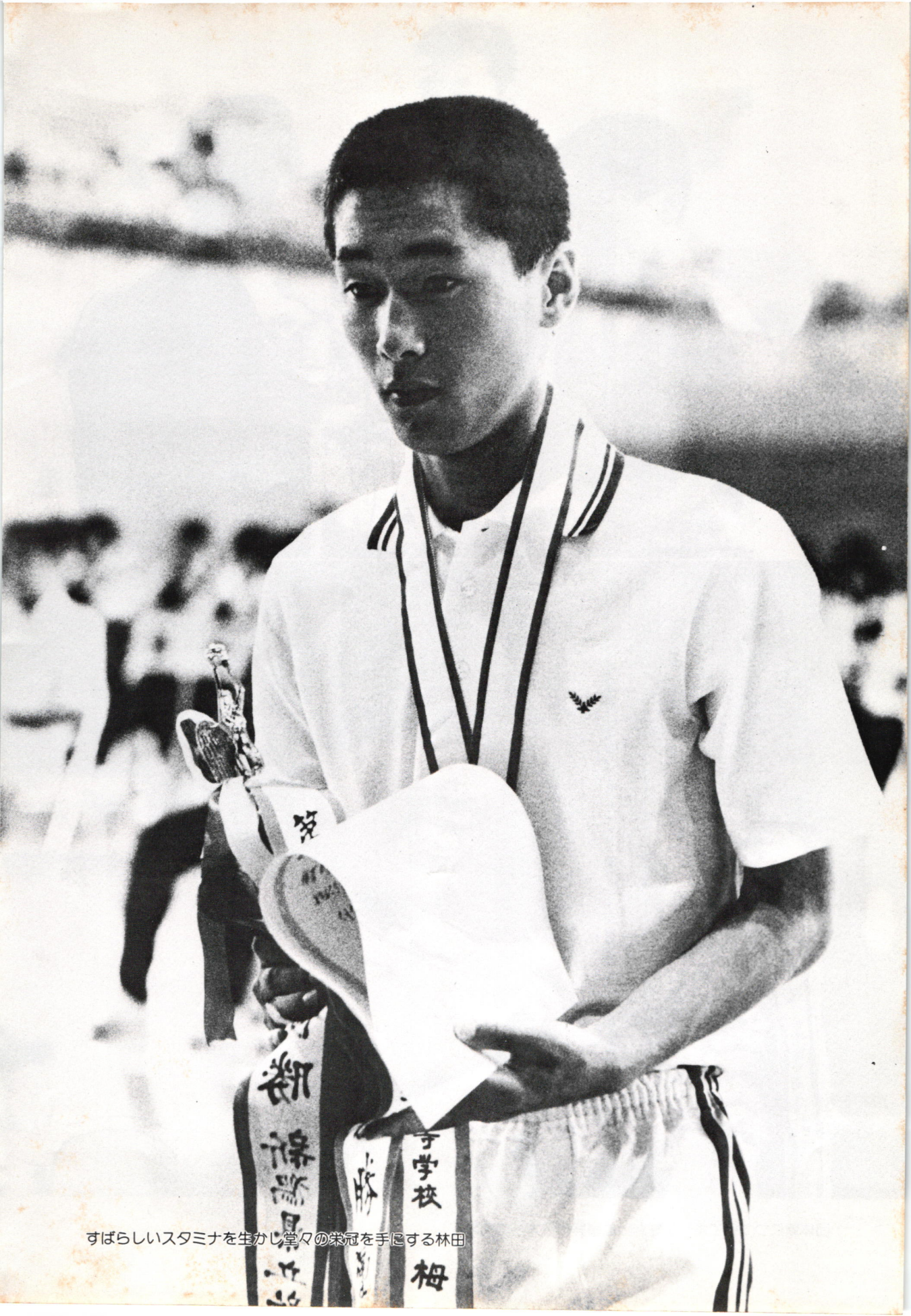




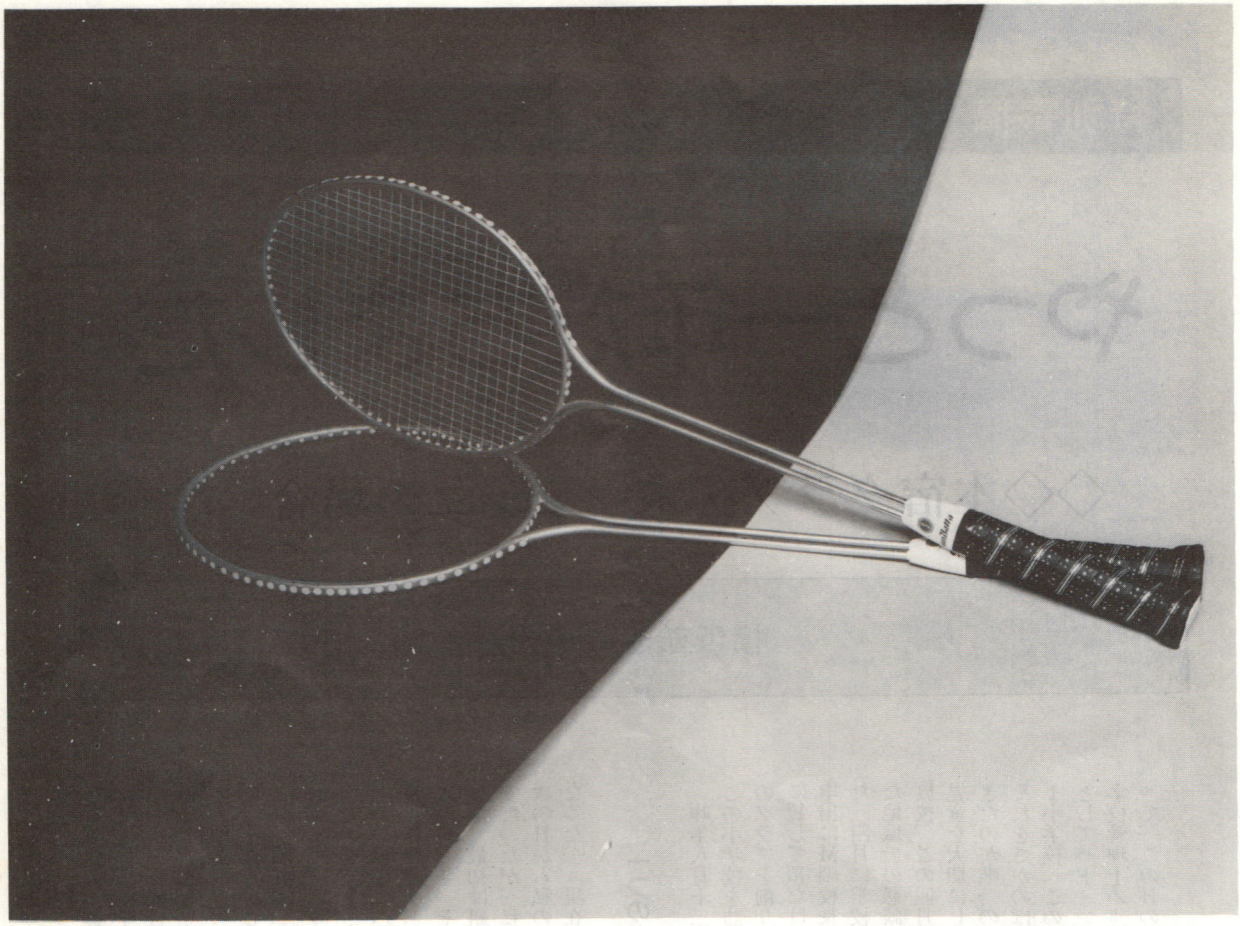
男子ダブルスで見事に優勝した吉岡・富田組



団体戦につづいて単・複を制した植野の日本一の笑顔



すばらしいスタミナを生かし堂々の栄冠を手にする林田



ALL STEEL RACKET SunBatta TWIN SHAFT

究明され！
完成された！
S-74
ALL ROUND

プレーヤーが長い間求めていたオールスチールが誕生しました。
従来のオールスチールラケットの利点及び欠点をあらゆる角度から究明され改良をし今ここに完成され皆様の目の前に現われました。
ツインシャフトの採用によって、フレームとシャフトとのひねりが最小限に押えられ自由自在なショットを楽しむ事が出来るでしょう。
アタックによし、レシーブによし、それがS-74オールラウンドです。

SunBatta TOKYO

サンバタ

特別寄稿

やっと一年たちました

◇◇本宿クラブ・スマッシュの場合◇◇

横浜鶴が峰中学校教諭　地主大造

「夏休みが終って、二、三日が過ぎた頃、担任の先生が手紙をくださった。それは、バドミントン部員募集の知らせの手紙だった。私はすぐ入ろうと思って、学校から帰って家族に相談した。お母さんも他の家族も入りなさいと喜こんで言ってくれた。バドミントンは小さい頃に、お姉さんと遊んでいた時からおもしろく好きでした。それに少し体が弱かったのでバドミントンに入りきたえようと思った。私は『バドミントンをやっていい』と言われた時、とってもうれしかった。そして次の日、さっそく申込み書を担任の先生に渡した。最初は組で一人しかいなかったので不安だったが、私はそれでいいと思った。その次の日から私の友だちがどんどん入るようになった。」（現在小学校六年Y子）

一つのかけ

昨年八月十二日の昼下り、長男が入学したこの小学校を訪れた。「小学生のバドミントンのクラブを創りたいのですが、講堂を定期的に貸して頂だけないでしょうか」この唐突な申出にM副校長は暖かい返事を与えて下さった。四月に学校長が、新入生父母を対象にした地域での懇談の折、学校開放（当時一般開放校、この四月から開放推進校）については児童を大切にしますよ。という説明を聞いてきたのが唯一の望みの綱だった。というのは、それをさかのぼる五月の末、勤務校の学区のI小学校（この小学校ではPTA活動の一つとしてバドミントンが行われている）からは、学校管理上の点で遠まわしに断られた私にとって、この日の訪問は一か八かの勝負だった。

きっかけ

私は三十代半ばにしてバドミンドントンの楽しさを知った。中学校のクラブ顧問として生徒と一緒に勉強もし練習もした。四十八年には全国中学生大会神奈川県チームの役員として参加したし、四十九年には、若い二人の顧問の力があって、男女優勝という二十四回の市大会の歴史の中で初めての記録にも巡りあうことができた。（このあたりのことについては、本誌五十五号を併読下されば幸です。）

どうしてもエリート化せざるを得ない学校スポーツ、社会体育への移行という掛け声はあっても、学校の教師という特権に甘んじている指導者、旗はふっても末端まできちんと下げてこない国の行政、これら疑問の数々が小学生のクラブ作りという命題を私に課したのだった。本当のバドミントンを小学生と楽しもう、これが私の希いだった。

「会場はきまったのですが、実はクラブ員もいないのです。私の住んでいる町内だけでは限られてしまうので、五、六年生全員にちらしを配らして頂だけないでしょうか」この厚かましいお願いにも副校長は、「うちの方で作ってあげましょう」とこれ又望外の御返事、しかし私が作って届けるということでこの日は辞した。十六日、T学校長を訪問、正式にクラブ発足に関するいろいろな事が了承され諸準備に取りかゝることになった。

足あと　その一　命名

「去年の九月、本とうのバドミントンのクラブとしてこの練習が始まった時、指導の地

第1表

年　月	練習回数
74. 9	4回
10	6回
11	5回
12	7回（冬休み）
75. 1	7回（冬休み）
2	6回
3	6回（春休み）
4	8回（春休み）
5	7回
6	8回
7	12回（夏休み）
8	12回（夏休み）
計	88回

（冬休み　7回
春休み　3回
夏休み　19回）



苦しさに負けずにランニング

主先生は、天下の小島一平さんと宮川秀樹さんをお呼びして、もはん試合を見せて下さり、そのあと小島さんからこのチームに『クラブ・スマッシュ』という名前をつけていたゞいた。私は、このクラブの一員であることをいつも誇りに思ってがんばっている」（六年M子）

その一　基本をみっちりと

練習はラケットの握り方から始まった。遊び的なものとしてハンカチ落し、ラケットにカバーをつけてのケース転がし等。次にハイサーブ、これには相当時間をかけた。右足を後へあげたり、シャトルが前へ飛びすぎる子ども。手首が弱いせいか、高く遠くへなかなか飛ばない。

三つめにハイクリヤー。これは基礎的な動作、すぶりをていねいにした。始めは高く遠くへ飛ばすよりも、まっすぐきれいに打つことにポイントを置いた。練習は土曜日又は日曜日なので一週間以上間があく時は、私とハイクリヤーを少しでも打ち合ってから、子どもたち同志で打つことにしている。

四、スマッシュを始めたのは十五回目。

五、前後、四すみへのフットワークは二十七回目の一月十五日から。三月入部の二期生（当時四年生男女）はもっと早い時期で二期生を手本として始めている。

「毎日の練習もすごく規則正しくて、ちこく早退も記録されてしまうし、トレーニングもきびしくてなまけるひまもない。それでもバドミントンは楽しくて、どんな用事が重なっても休む気にはなれなかった。練習日数は二十二回まで無欠席で㉒と書いたごほうびのシャトルももらえた」（前文のK子）

その二　見学、そしてダブルスゲームへ

一月十九日、片道約二時間の所を、第四回国際大会、全日本対全英の試合を見学に行った。クラブ員二十名、父母七名。四ケ月がんばったお年玉である。

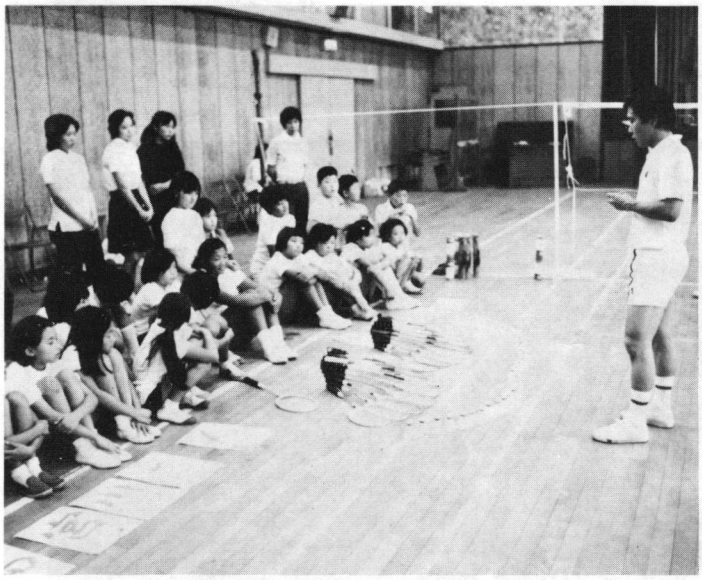
「一月十九日のバドミントン競技大会の時、わたしはいろいろの人のラケットのふり方を見ると、めんがまっすぐでした。私は先生に『面がまがっている』と言われるとこの日見たしあいを思い出します」（五年K子）

「年が明けて一月、いよいよダブルスの練習が始まりました。最初は、もう何がなんだかさっぱりわかりませんでしたけれど、先生の指導でわかり易く教えてもらい、三月には小島一平杯争奪第一回ダブルス大会を行ない見事優勝しました」（中一K男）

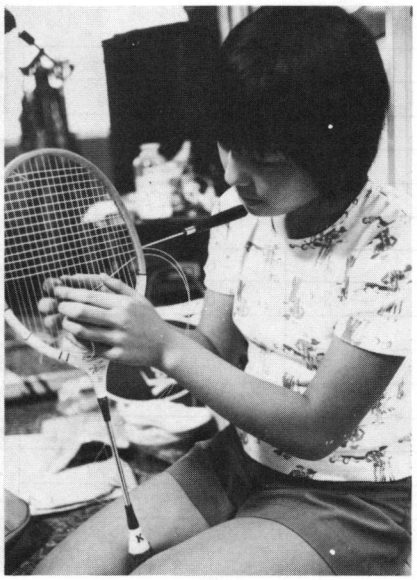
ダブルスのパートナーは、初めのうちは誰と誰と組んでごらんと力のバランスを考えたが大会には自分でパートナーを選ばせた。十二組が参加、四組がシードされた。小島一平さんが三月二日にはこのクラブに、素晴らしいカップを贈って下さったのである。

その四　いよいよ対外試合

第一表のように練習回数を重ねてきたクラブ・スマッシュも、三月は九日を最後に四月五日まで講堂が借用不可能になってしまった。それは卒業期を控えて学校諸行事の関係である。そこでホームグラウンドを失なった私たちはロードゲームとなった訳である。二十三日、二週間のブランクもものかわ、クラブ員



小島一平さんのアドバイスを熱心に聞く



ガットも自分で張れるようになった

ぞうの進学するM中へ。三十日は電車と徒歩で五十分の、前年度市大会三位の実力を持つH中に胸（実は体育館）を借りに。三十一日から四月二日の三日間は、隣接する開放校S小学校で練習を続けることにした。

もう三点だったのに

『ワー』

決まった。私たちは今、M中学校の一年生の人と試合をしている。相手の顔を見ただけでも負けそうだ。今その人たちのコートにスマッシュを決めたのだ。今まで点が一つもとれなかっただけにとてもうれしい。セカンドサーブ、打った。スマッシュ、またたく間に一点。また一点。もう何点リードされているか。そんな事を何回もくり返しているうちに一ゲームが終ってしまった。

コートチェンジ。プレイ。ファーストサーブ。打った。ハイクリヤーが返ってきた。スマッシュ。拾われた。今度は相手がスマッシュ。決められた。ファーストサーブ。打った。アウト。しん判の手がアウトのジェスチャーをした。セカンドサーブ。飛んできた羽根をスマッシュ。決まった。やっと私たちの組にサーブ権がもどって来た。

ファーストサーブ。大きすぎた。セカンドサーブ。打った。ロングサーブのまねをしてショートサーブを前に落した。相手は前に思いっきり走って来た。かろうじて拾った。そこにスマッシュ。とうぜん拾えない。点が入った。サーブ、クリヤー、スマッシュ。試合は終った。負けてしまった。もう三点だったのに。礼。あく手。コートを出た。

やっぱりまだ力が足りないみたいだ。今度試合をする時は、絶対に勝ってやると、心に決めた」（六年K子）

その五　一期生の募集

九月に始まり半年続いたこのクラブは、三月新しい部員を迎えることになった。

「ぼくはバドミントンが大好きだ。だからこのクラブに入部した。新入部員を集めるためにK君やO君がぼくたちの教室へ来た。ぼくはすぐクラブだとわかりました。ぼくはすぐ入る気になりました。初めに見学した時、先生がとてもこわく感じました。だけどもそのせいかが出て来ました。クラブに入ると決心してから何回かやめようと思いました。だけどとてもおもしろいのでやめるのはあきらめました。これからも続けたいバドミントンクラブです」（五年S男）

その六　その後

五月三日、第三回の父母の会を開いた。各町内毎に代表の父母が選ばれ、その方が世話役となって毎回の練習に一人二人の父母が参加して頂けることになった。又、毎日の学校開放の調整会（くじ引きで決めるのでなくあく迄も互いに譲りあってみんながスポーツできる方向をとっている）にも、この代表の方々が順に出て下さることになった。又、この日、先のH中のK先生が生徒十四名を連れて御礼参り（？）に見え、一日一緒に練習やゲームをして下さった。

六月一日、三ツ沢公園にある平沼記念体育館での区体協主催の「バドを楽しむ会」に二

第一回親子大会

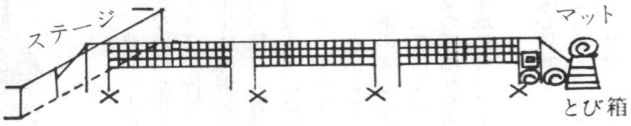


第2表　7月末現在クラブ員数

	男	女	計
中学1年	2	1	3
小学6年	1	10	11
小学5年	6	8	14
計	9	19	28

第3表　参加状況

欠席日数	7月14日～7月20日 一期生68回について	3/2～7/20 二期生31回中
0～5日	2人	4人
6～10日	8人	5人
11～20日	4人	2人
21～	3人	0人
計	17人	11人



十五名が参加でき、大きな体育館で羽根を打つことができた。

六月二十八日、土曜日の午后、クラブ員が毎日接している会場校の先生を招待、先生とクラブ員という即席ダブルスでゲームを楽しんだ。上級生はシングルスの挑戦を受け、セッティングまで追い込んだものの、先生たちの老巧さの前にくっし、『卒業までには俺に勝てよ』とはげましを受けた。

七月二〇日、夏休みに入った一日目、父母もラケットを握り、親子でバドミントンを楽しもうということで、小島一平杯争奪第一回親子大会を行なった。一人のおじいさん、十人の父、十人の母、二人の自宅待機のお姉さん、クラブ員二十三人。始めてゲームをするお父さんたちも一生懸命ルールを憶え、ほんとうに楽しい半日だった。三回戦までは十一点の三ゲーム、準決から十五点の一ゲームとし、皆が少しでも参加できるようにした。

そして夏休み。有志による朝六時発走の四～五キロマラソン。八月下旬には二つのグループに分けてのリーグ戦形式による第一回シングルス大会が彼等を待っている。

落ち穂拾い

発足から約一年間の歩みを、七月中旬に書いてもらった子どもたちの作文を中心に記してきた。ここでは、今まで取りあげられなかったことをいくつかメモしておくことにする。

(1) 募集、会費

バドミントンは誰でも親しみを持ち易いが、スポーツとして楽しむには基礎からの積みあげ、一人一人の力に応じた細かい指導が他スポーツ以上に必要だ。クラブスマッシュでは九月と三月、小学校四年男女、五年男を募集することにしている。入会金五〇〇円（スポーツ傷害保険、ワッペン代）、会費月額五〇〇円で何とか消耗品のやりくりをしている。

(2) コート、シャトル

やや古い体育館でバドミントン用のポストの穴はもちろんない。そこで図のようにネットを三枚つなげステージの柱と飛び箱、マットで両端を固定し、木の手造りのポストでネットをつりあげる。バスケットリングが壁の中央にあるので、中央コートはエンドが50cm程短いが、両サイドのコートはギリギリとれる。天井はやゝ低いがドリブンクリヤーなら十分。シングルコートのコーナーにマークを入れ、ゲームの時はチョークで書く。シャトルはエース、ストロング併用。

(3) クラブ員と出席状況

別表の通り

(4) 暖かい援助

本誌五十二号で紹介の第一回関東家庭婦人大会準優勝の神奈川ユーバークラブのT夫人（区民大会等で以前から存じあげていた）が、九月のある日、「私の娘を」と訪ねていらっしゃった。その後T夫人は、殆んどの土曜日に往復一時間の所を歩いて指導に来て下さる。そして、クラブで使用した古いシャトルまで持ってきて下さる。小島一平氏等も短時間ながら時たまみに来て下さる。高く上がったサーブに感嘆の声が出ると、「君たちとレベルが違うからな」とじょう談をまぜながら。

五月の父母の会以来、練習には一人二人と必らず父母の方が長時間（みんながゲームをすると三時間半をこす）の練習に陪席、見学して下さり、時にはラケットを一緒に振り、時には終りの掃除も手伝って下さる。その他

多くの方々の理解、援助でこのクラブは生れ、這い今やっと立ち上ろうとしている。

感謝の限りである。

(5) いくつかの問題点

「初め良ければすべて良し」といいたい所なのだが、そうもいかないのが世の習い。先ず小学生のこの種のクラブが皆無に近いらしいこと。私たちは中学生に練習試合をお願いしているけれども、他の種目（野球、サッカーその他）のように普及するには時間の問題だけだろうか。インドネシヤの小学生が日本の一流選手のスマッシュをポンポン受けるという話を聞く時、彼の地の底辺の広さを素晴らしいと思うのは私一人ではないだろう。まあそういう指導者が極めて稀れなのであろうし、それらが生れる素地についてもいろいろ考えさせられる。

もう一つは父母の関心理解度だ。入部の理由に「運動が大変好きなので、何か組織的なスポーツクラブで鍛えさせたいとかねがね望んでいました。」という父母。練習の土、日にぶつかる習字の塾を他にまわして貰って、バドを始めるなら最後までがんばれよ、と励まして入部させた父母もいらっしゃる一方、子どもが入りたいというから内容も良く理解しないで、いいよと、風邪で休み、行きずらくなったというのを聞いてもそれを見逃がし、練習がきついから止めると言えば、何にも言わずに子どもの言いなりになり、ピアノに習字、そろばんに学習塾（それも遠方まで）そしてスポーツクラブではどんな事をしても中途半端になってしまうのはわかりきっているものの主体性の無い親のあり方に疑問を感じる。この問題はこのクラブに対してだけでなく他の種々の社会教育に関しても同じであろうが。

更にもう一つはクラブ員の将来の問題。この春中学に進んだ八人のうちバドミントン部に入った者五人。しかしその内二人は三ケ月足らずで他へ転部。彼等をどう育て、力を伸ばしていくか。通常は週に一回というクラブ練習では、毎日のランニング、体力づくり等の指導までは私の力は及ばない。バドミントン競技を楽しみ、体力をつけ、規律ある集団生活をトレーニングするのが、このクラブの目的なのだから。このレポートを二人の作文で終らせたいと思う。

練習すれば いつかは羽根だって飛ぶだろう

「今日、プール行かない？」

なんて言われても、ことわらざるを得ない時がある。それは、バドミントンクラブがある時だ。皆ながプールへ行くような日は大てい土曜日か日曜日。だけど、バドのクラブがあるのも土曜日か日曜日。ちょうど重なっちゃって、自分だけがプールへ行けないなんて日もある。そんな時はやっぱり、（バドクラブ休んじゃおうか）なんて思う。でも私は、クラブの中でうまい方じゃないから、少しでも休むとその分より多い位におくれてしまう。私だって自分からへたになろう、なんて思わないから、（やっぱり行こう、練習すれば、いつかは羽根だって飛ぶだろう）そう思って今まで続けてきた。しかし、休みたい時は、そういう理由だけじゃない。真夏の太陽がガンガン照りつけるような日に、十分間マラソンなんて言われると、ウンザリ。その後に水も飲ましてくれない。なんて言われると、ますますいやになる。

しかし、そんないやなことばかりがバドクラブじゃない、練習に毎日出ていれば、サーブだって少しはうまくなるし、羽根だって少しは飛ぶようになる。（クラブの中ではまだまだへたな方だけど）それに、クラブで試合を見に行ったり、他の体育館をかりて練習したり、時には、小島さんや宮川さん鈴木さんが来てくれたりした。それに、クラブでマラソンをやったりするので学校でマラソンをする時楽だったり、ふっきんなんて前は一回もできなかったのにできるようになった。なわとびの二重飛びだってそうだ。

このようにバドクラブに行っていていやなこともあるけどいいことだってあるんだからこれからも続けていかなきゃ、と思う」（六年T子、このクラブ員だけH小生徒でない）

苦しかったけど これでいいんだな

「四月のある日、本宿小学校の体育館でバドミントンの練習があり、ぼくは目ざまし時計で飛び起きました。しかしまだぼくの頭の中はぼーとしていて立ちあがるにやっとでした。体操着に着がえ朝食を食べて、家を出ました。行くとちゅう、

「I君はもう行ったかな」

と一人ごとを言いました。そして学校に着きちょうどそこへ先生がいらしたので、みんな

「おはようございます」

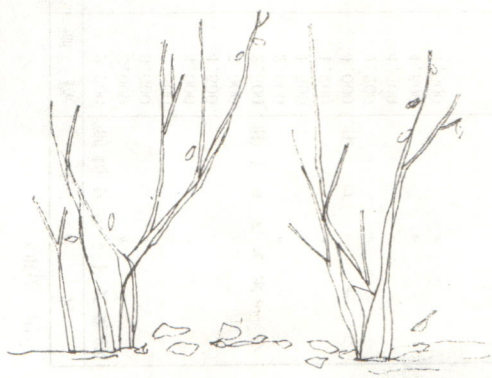
と、あいさつをして体育館に入りネットをはりました。マットや飛び箱を運ぶので、あせをかいてしまいました。運び終った時は、ふらふらで今にもたおれそうになりました。そ



のあとはぞうきんがけで体育館を二おうふくします。一おうふくだけで、
「たいへんだな」
「ほんと足がいたくなる」
「でもがまんがまん」
「あと一おうふく、がんばっていきましょう」
とN君としゃべりました。でもぼくはこの苦しさにたえていけるだろうか、と思いました。しかしここでやめてしまってはもともこもないと思いました。それが終ったらぼくの一番いいサーブの練習です。先生が、
「サーブの練習」
とおっしゃった時、ぼくは思わず、
「やったあ」
とさけびました。でもなぜか今日だけ左へシャトルが飛んだり、右へ飛んだりして、なかなかまっすぐには飛びませんでした。クリアの練習の時は、手首のすじがいたくなり手全体がとてもだるくなりました。それもがんばってやっていると先生が、
「新入生はなわとびを男が千回、女は八百回」
とおっしゃったので、みんなはもうスピードで始めました。十分位たつとみんな終りましたがぼくは少し頭がいたいような感じがしました。
さいごは一番苦しい運動です。いつもの(註あおむけに寝て足を上げ下げする腹筋の運動)
「上げて」
「下げて」
というごうれいでやりました。ぼくはもう五回以上もやったので、苦しくて苦しくてぜんぜん足が上がらなくなってしまいました。終った時はあせでびっしょりになり、にえたった湯の中に入ったようでした。あとは軽い体そうをし、せい列をして先生の話を聞き、礼をして帰りました。帰りながら、
「苦しかったけどこれでいいんだな」
とつぶやきました。」(五年S男)

50・8・12記(横浜市旭区在住、中学校教師)

(編集部から、本稿に対するご意見やご質問、筆者とご連絡をとりたい方は、編集部あてどしどしハガキをお寄せ下さい。広く社会体育の一環、底辺拡大の芽として育てていきたいと考えております)



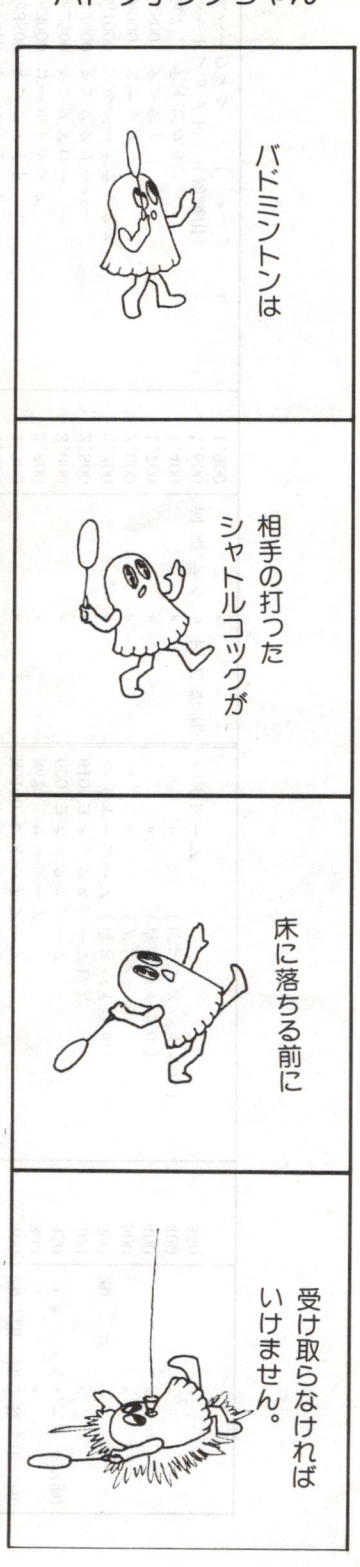
昭和50年度日本バドミントン協会検定審査用具一覧表

（単位　円）

銘柄名		価格	会社名
検定合格			
シャトル・水鳥の部			
トーナメント・デラックス	1打	3,700	ヨネックス・スポーツ㈱
トーナメント	1打	3,200	〃
オフィシャル	1打	2,900	〃
エリートエース	1打	2,900	河崎ラケット工業㈱
エリートトップ	1打	3,200	〃
エリートデラックス	1打	3,700	〃
サンバタスター	1打	3,800	㈱諸江製作所
サンバタキング	1打	3,200	〃
サンバタクイーン	1打	2,900	〃
トーナメントブルー	1打	3,000	㈱トヨダスポーツ
トーナメントホワイト	1打	3,200	〃
トーナメントブラック	1打	2,750	〃
ファーストシルバー	1打	2,800	有限会社ジャワ商会
ファーストグリーン	1打	2,600	〃
ファーストゴールド	1打	3,000	〃
サンワ印ハイレッド	1打	2,400	㈱三和
ゴールド	1打	2,900	㈱ゴーセン
シルバー	1打	2,700	〃
ハタチビクトリー	1打	3,600	羽立工業㈱
シャトル・陸鳥の部			
トレーニングコック	1打	1,800	ヨネックス・スポーツ㈱
サンバタ	1打	1,800	㈱諸江製作所
ネットの部			
No.48　TR		4,600	ミセキネット製作所
No.52　A		3,800	〃
No.501　SVA		4,600	〃
KT−518		4,400	㈱寺西喜商店
綿20 1S/12本 テトロン防縮ロープ使用		4,300	㈱ジィティオ
ナイロン210 D/12本　〃		4,500	〃
綿20 1S/12本 ビニロンロープ使用		3,900	〃
ナイロンA（ナイロンラッセル15本）		4,700	鐘屋産業㈱
ナイロンB（ナイロン12本）		4,300	〃
倉敷ビニロン　20/12本		3,800	松本製網㈱
ポストの部			
T座式スチールポール		22,000	ヨネックス・スポーツ㈱
バドミントン支柱ホール式		10,000	㈱小川長春館
バドミントン支柱T座式		18,000	〃

銘柄名		価格	会社名
ファインストローク	（初級用）	2,200	河崎ラケット工業㈱
ウィニングコース	（選手用）	2,000	〃
スタミナ	（〃）	3,000	〃
スタミナデラックス	（〃）	3,500	〃
ブルーリース	（〃）	4,000	〃
オールマン	（〃）	4,500	〃
エリート	（〃）	5,000	〃
No.2000ニューブラック	（初級用）	2,500	㈱トヨダスポーツ
No.1000ニューミニ	（〃）	2,000	〃
No.8 ウィンナー	（〃）	1,500	〃
No.7 シルバー	（〃）	1,200	〃
ハイトーマス	（選手用）	4,000	㈱ゴーセン
エクセレント	（〃）	4,200	〃
ルバードII	（〃）	4,500	〃
ルバードIII	（〃）	4,500	〃
スワニー	（〃）	4,500	〃
ウエアの部			
140 クールネック		1,800	ヨネックス・スポーツ㈱
141 男子シャツ		2,000	〃
142 男子シャツライン入り		2,200	〃
144 男子シャツエリカラー		3,200	〃
241 女子シャツ		2,000	〃
242 女子シャツライン入り		2,200	〃
243 女子シャツノースリーブ		1,900	〃
120 ショートパンツ		2,800	〃
121　〃		2,400	〃
122　〃		2,100	〃
200 巻きスカート		2,600	〃
201 フレアスカート		1,900	〃
202 プリーツスカート		2,200	〃
172 セーター		5,500	〃
176 ベスト		4,500	〃
214 ワンピース		5,500	〃
820 男子ショートパンツ		3,300	〃
920 女子ショートパンツ		2,500	〃
940 女子ワンピース		6,500	〃
950 プルオーバー		6,000	〃
960 女子スカート		3,800	〃
テッドティンリンショートパンツ		3,300	河崎ラケット工業㈱
〃		3,700	〃
テッドティンリン半袖シャツ		3,500	〃
デフィショートパンツ		2,500	〃

ＤＧ10バドミントン支柱（Ｓ型）	13,500	セ　ノ　ー　㈱	デフィ半袖シャツ	2,900	〃
ＤＧ20　〃　（移動型）	24,000	〃	〃	2,100	〃
バドミントンポスト	10,000	㈱都村製作所	リースショートパンツ	2,100	〃
バドミントンポスト（Ｔ字型）	10,000	〃	〃	3,400	〃
			リースフレアスコート	2,500	〃
ラインテープの部			リースプリーツスコート	2,000	〃
415 コートテープ	2,300	ヨネックス・スポーツ㈱	リース巻スコート	2,500	〃
カワサキラインテープ	2,000	河崎ラケット工業㈱	リース半袖イタリアンネックシャツ	2,000	〃
ＤＫ91ラインテープバドミントン用	2,000	セ　ノ　ー　㈱	リース半袖Ｖ衿シャツ	2,300	〃
赤Ｍラインテープ	1,800	昭和ゴム㈱	リース半袖シャツ	1,500	〃
			〃	2,000	〃
審　査　合　格			リーススリーブレス	1,900	〃
			〃	1,800	〃
合成シャトルの部			リース長袖シャツ	2,000	〃
ナッシュ　　１個	200	㈱諸江製作所	リース半袖シャツ	2,100	〃
メイビス　　１打	2,400	ヨネックス・スポーツ㈱	Ｌ－1206 ラコステ紳士ポロシャツ	4,300	三共生興㈱
カワサキ・リーブ（合成シャトル）	2,700	河崎ラケット工業㈱	Ｊ－5093 ラコステ巻スコート	4,500	〃
ハタチハネエース　　１打	2,700	羽立工業㈱	Ｊ－5020 ラコステプリーツスコート	4,500	〃
			Ｊ－5411 ラコステワンピース	5,800	〃
ラケットの部			Ｌ－1514 ラコステ婦人ポロシャツ	3,500	〃
9100 スリムステンレス	5,300	ヨネックス・スポーツ㈱	Ｌ－2230 ラコステ紳士シャツ	4,800	〃
9000 ハイステンレス	4,800	〃	Ｊ－2006 ラコステショートパンツ	3,200	〃
8100 ブラッキー	5,500	〃	Ｌ－1268 ラコステ紳士ハイネック	3,800	〃
8000 アルミナハイパワー	5,000	〃	Ｌ－1212 ラコステ紳士ポロシャツ	3,800	〃
7000 アルミナエース	5,000	〃	Ｌ－6100 ラコステベスト	6,800	〃
6500 トップエース	4,300	〃			
6000 ファイブエースデラックス	4,500	〃	**シューズの部**		
3000 カレッジエイト	3,000	〃	No.335 バドミントンシューズ	2,400	ヨネックス・スポーツ㈱
2000 キングダイヤ	2,500	〃	No.336　〃	2,500	〃
1000 クインハート	2,200	〃	カワサキバドミントンシューズ	2,500	河崎ラケット工業㈱
900Ｇ スリーエース（No.10Ｇ）	2,300	〃			
800Ｇ スリーエイト（No.8Ｇ）	1,900	〃	**ストリングスの部**		
700Ｇ ラッキーセブン	1,500	〃	ロンシープ	300	河崎ラケット工業㈱
Ｓ－74 オールアタック	5,500	㈱諸江製作所	コンカー	400	〃
Ｓ－73 オールマイティ	4,500	〃	アカツキナイロン	200	〃
No.3500 キングメイト	4,300	〃	No.100 レオーネシープ	400	㈱諸江製作所
No.3000 ゴールドキング	3,800	〃	No.20　サンシープ	300	〃
No.2500 キングアロー	3,000	〃	600 ヨネックスシープ	350	ヨネックス・スポーツ㈱
No.2000 キングクリッパー	2,500	〃	610 ヨネックスシープＤＸ	400	〃
No.1000 シルバーデラックス	2,200	〃	ハイオーシープ（青スパイラル）	500	㈱ゴーセン
No.900　スナップ	2,000	〃	〃　（アンバー）	500	〃
No.800　ダンディ	1,700	〃	〃　（青スパイラル）	400	〃
No.7　ティピカル	1,400	〃	〃　（ピンクスパイラル）	400	〃
ハードショット　（初級用）	1,600	河崎ラケット工業㈱	ハイシープ	350	〃
エバーウィン　（　〃　）	1,900	〃			



★本誌バックナンバーを頒布いたします

◇一冊150円（送共）に均一化

本誌バックナンバーをそろえたいという読者の皆様のご要望にそって、ここに創刊号から60号までのうち、お分け出来るものをご案内いたします。

ご希望の方は、ご希望の号数と冊数をはっきりとご記入のうえ、一冊につき150円を、**必ず現金書留で「バド界編集部」あて**お送り下さい。

この一冊150円には、送料・発送事務費すべてを含みますので、送料は加算しなくてけっこうです。本誌は初期のものと最近のものとでは定価が異なっていますが、事務手続の簡素化と発送の迅速化を図るため、**一冊150円に均一化**させていただくことをあらかじめご了承下さい。

なお、在庫は少ないものも含まれておりますので、万一売切れの場合は悪しからずご了承下さい。その際代金は現金書留にてご返送いたします。

本誌は、バドミントンの百科辞典ともいうべきものですのでぜひ、この機会にバックナンバーをお揃えになるよう、おすすめいたします。

〈あて先〉

〒150東京都渋谷区神南一ノ一ノ一岸記念体育会館内・日本バドミントン協会・「バド界」編集部

——必ず現金書留で——

〈バックナンバー一覧〉

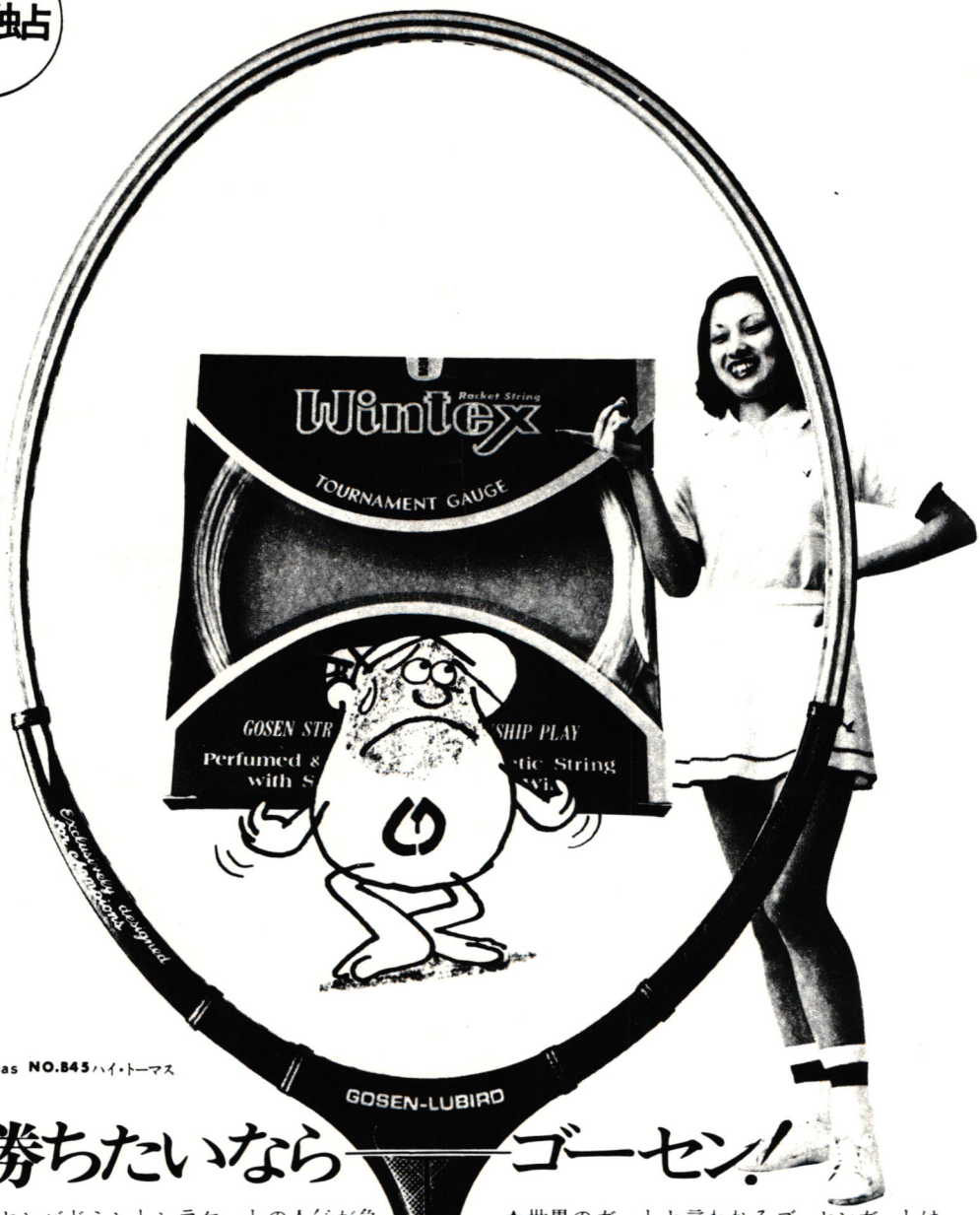
創刊号＝ユーバー杯初防衛
2号＝国際学生選手権
3号＝全国に広がる底辺活動
4号＝国体詳報
5号＝女王の座めざして
6号＝女子C・トーナメント
7号＝トマス杯アジア地区決勝
8号＝トマス杯決勝総まくり
9号＝海外遠征特集
10号＝社会人選手権総まくり
11号＝インターハイ特集
12号＝東日本学生選手権大会
13号＝インターハイ総特集
14号＝全日本教職員選手権大会
15号＝ケガに強くなろう
16号＝国体ワイド特集
17号＝目で見る技術講座
18号＝全日本総合選手権詳報
19号＝アジア大会総まくり
20号＝社会人・学生対抗
21号＝底辺の拡大を
22号＝
23号＝ 小島はなぜハルトノに勝てない（合併号）
24号＝中国との交流問題
25号＝インターハイ特集
26号＝青春の映像・相沢マチ子
27号＝次代のトップをさぐる
28号＝女子学生界の展望
29号＝梅野尾初優勝
30号＝第1回国際女子競技会
31号＝全英で単複制覇
32号＝ユーバー杯代表そろう
33号＝売切れ
34号＝宿願のユ杯3連覇
35号＝ユ杯に見る連続写真
36号＝インターハイ特集
37号＝トマス杯地区決勝で敗る
38号＝中国バドミントンの実力
39号＝国体詳報
40号＝売切れ
41号＝第2回国際女子競技会
42号＝売切れ
43号＝売切れ
44号＝近づく中国との対決
45号＝底辺を広げ支える人々
46号＝続・中国の実力と周辺
47号＝インターハイ特集
48号＝第1回日中大会詳報
49号＝国体・全日本総合特集
50号＝中国チームに学ぶ写真集
51号＝第3回国際競技大会
52号＝湯木2度目の全英制覇
53号＝全英選手権をふり返って
54号＝ピンナップ写真特集
55号＝第5回女子Cトーナメント
56号＝カナダオープン優勝
57号＝全英選手権写真大特集
58号＝デンマークオープン
59号＝第二回訪中友好試合詳報
60号＝売切れ

【バドミントン界】第70号
昭和50年7月25日 印刷
昭和50年8月1日 発行
編集兼発行人 秦 浩
発行所 東京都渋谷区神南一の一の一 岸記念体育館内 日本バドミントン協会
電話 四六七・三一一一（内線）三五一 四六七・七〇九五（直通）
郵便番号・一五〇
振替口座・東京三一一九三
印刷所 東京都豊島区南大塚二一二九 明宝印刷株式会社
定価 一部二百二十円

©無断転載を禁ず

スピード、パワー、スマート——近代バドミントンを追求するゴーセン

人気独占



Hy Thomas NO.845ハイ・トーマス

勝ちたいなら——ゴーセン!

ゴーセンバドミントンラケットの人気が急上昇しています。一流選手のアドヴァイスを積極的に取り入れ、開発された特殊合板による力強いフレーム、抜群の弾力性、重量・バランスの素晴らしさなどがその秘密。

さらに世界で初めてのステンレスワイヤー巻付・特殊油・香水入りガット《ウィンテックス》が加わればまさに鬼に金棒。あなたのスコアアップはゴーセンにおまかせ下さい。

★世界のガットと言われるゴーセンガットは、その一本一本にすべて品質保証のネームが記入されています。よく確かめ類似品にご注意下さい。

●シャープさで定評のゴーセンバドミントンラケットもお試し下さい。

ラケットの決め手

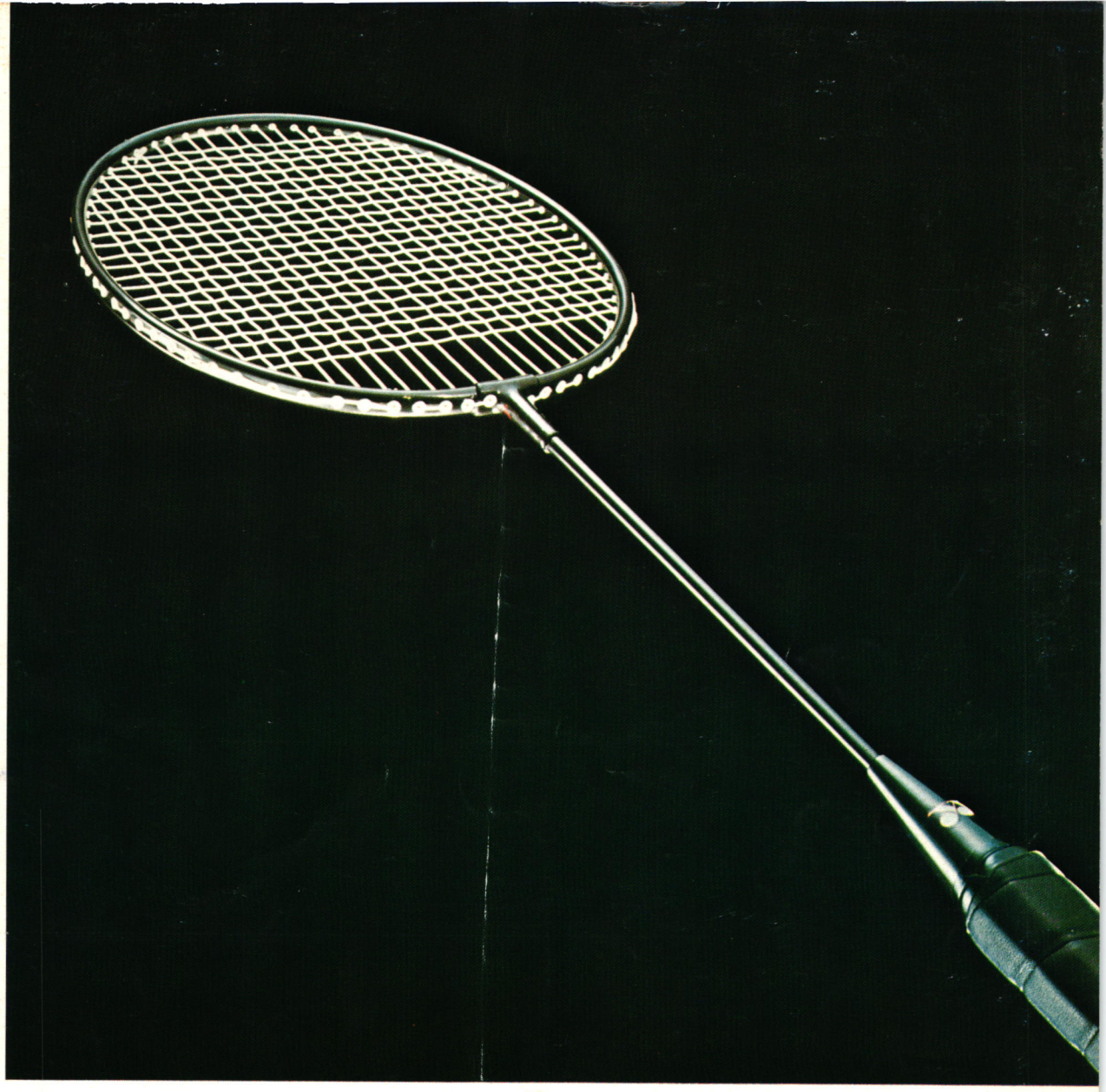
Hy Thomas

株式会社ゴーセン

●本社・大阪市東区豊後町4 ☎06-942-5816

●東京支店・東京都台東区蔵前4-14-2 ☎03-862-6576

月刊「バドミントン界」第70号
昭和五十年八月一日発行（毎月一回一日発行）
昭和四十四年十二月二十三日 第三種郵便物認可
発行所
東京都渋谷区神南一ノ一ノ一
岸記念体育会館内
日本バドミントン協会 定価二百二十円



時速270kmのスマッシュ！

まっ黒いラケットから、まっ白いシャトルコックが時速270kmのスピードで、相手コートにたたきつけられる。目にもとまらぬスマッシュ。今や噂のラケット、ブラッキー。その秘密はヨネックスが初めて可能にした、極細の特殊ステンレスシャフト。ぐんと細身で、普通より長目ですから、まるでムチのように打つ瞬間鋭利にしなります。息をのむ反発力です。そのうえ、特殊合金フレームの強さがプラスされ、切れ味のよい攻撃力。あそこで、ここで、ブラックパワーと恐れられています。

No.8100 BLACKEN

●No.8100ブラッキー……￥5,500

YONEX